長野県信濃美術館

平成29年度　館報　　20

目次

はじめに　5

1 美術館概要
(1) 特徴　6
(2) 沿革　7
(3) 施設概要　8
(4) 長野県信濃美術館条例　10
(5) 長野県信濃美術館規則　12
(6) 歴代館長　13
(7) 平成29年度美術館協議会委員　14

2 展覧会概要
(1) 長野県信濃美術館主催展覧会　15
(2) 特別イベント　15
(3) 移動展　15
(4) 美術団体による展覧会（貸館）　15

3 各展覧会の記録
(1) 企画展　16
(2) 東山魁夷館・特別展　28
(3) 移動展　31
(4) 特別イベント　35

4 教育普及事業
(1) おもしろ美術講座　38
(2) おでかけ美術館講座　39
(3) やねうら美術館講座　40
(4) 展覧会関連　41
(5) 学校との連携事業　42
(6) 造形教育作品等の貸出　43
(7) カフェコンサート　43
(8) 善光寺門前研究プロジェクト　44
(9) MIDORI 展示　46

5 収蔵品貸出　47

6 その他
(1) 美術館協議会・モニター会議　52
(2) 信濃美術館整備に向けての経過　52
(3) 利用案内　53

はじめに

半世紀以上の時を重ねた弊館で作成した最後の館報、第20号を刊行する運びとなりました。この1年を「未来に向けてのカウントダウン」と銘打ち、前半は「ありがとう、さようなら信濃美術館」をキャッチ・フレーズに3本の展覧会を実施しました。昨年度の館報で「1年間を通して通常の展覧会を実施できるのは、本年度が最後となります。」と記載したように、29年度は、9月16日から31日までの2週間で開催した「信濃美術館クロージング」展を最後に、51年間休むことなく開催してきた展覧会に終止符を打つことにしました。

クロージング展の開会式には、阿部県知事、垣内県議会議長、半田信州大学工学部長（副学長）、善光寺、設計・建設に携わった㈱日建設計、㈱守谷商会等が出席しました。出席者の中では、創業15周年記念事業として当館を誕生させ、3年後の昭和44年に長野県に寄贈しました信越放送株式会社、信濃毎日新聞社のご貢献の大きさを改めて感じます。清水多嘉示氏の『躍進』像がある建物の広場で、黄昏時に開催された閉会式は、信州大学濱田学長、太田副知事、小林市議会議長、JR 東日本長野駅長はじめ120名もの出席者が、建物に別れを告げました。外壁には過去の展覧会やイベントなどの映像が映し出され、頭上には下平千夏氏の約10万本の輪ゴムで表現したインスタレーションが照らし出され、クロージングイベントの雰囲気を効果的に醸し出しました。

翌日の10月1日から信濃美術館は、3年以上の休館に入りました。すでに東山魁夷館は、収蔵庫をはじめ池や館内の改修のため5月31日から休館中です。後半は、さまざまな事業が錯綜しながら進みました。目前の仕事として事務室や倉庫内の物品等の箱詰め、研究室図書の整理と梱包、収蔵作品のチェックとデータ整備などは多くの時間と手間を要しました。その一方、休館に伴って作品の貸出しや移動展の作品取扱い業務が増えたことから、仕事は煩雑化しました。通年の教育普及や地域連携業務に加えて年度末に開催する最終イベントの準備等を捌きながら、文化政策課・信濃美術館整備室や施設課、㈱プランツアソシエイツの宮崎浩氏設計者等による合同会議も鋭意取り組みました。

多岐にわたる仕事を抱えながらも全職員が、信濃美術館解体という歴史的な出来事に関わることにやり甲斐をもち、全力で取り組みました。改修前の東山魁夷館においては、朗読会や朝ヨガ、ブロガー内覧会、平松良太氏のピアノカフェコンサートなどを果敢に取り入れました。信濃美術館では、信州大学寺内研究室による建築模型製作をはじめ映像制作やアーカイブ写真展、小中学生による信濃美術館写生展、現代若手作家展、アンデパンダン展、アーティスト・イン・レジデンスなど、多様な事業を展開しました。同時に、これらの活動が浸透するために欠かせない地域連携は、「善光寺門前研究プロジェクト」事業を中心にさらに前へ進ませました。まちなかアートやアンテナスペース等での活動、視覚・聴覚障がい者の鑑賞ツアーなどは、着実に成果を上げています。アートメント NAGANO 2017フリンジ企画にも参加して、地域一体型の取り組みも努力が実っています。その他、竹風堂大門ホールでの社会人講座、善光寺平アートラインの学芸員による展示照明研修会など、さまざまな参加対象者による事業活動は、新美術館以後の地域連携活動に生かされていくことでしょう。

数か月後にモダニズム建築のすべてが消え去ります。記録を文字や音声、絵や模型、映像等で残していくことが、私たちに課せられた責務と考えてこの一年間を歩んできました。十分とは言えませんが上記の事業を展開することで、一人でも多くの皆様の心に現在の信濃美術館が、記憶に長く留まることを願っています。長い間、多大なご支援、ご協力を賜りましたことを、心よりお礼申し上げます。

平成30年3月

長野県信濃美術館
館長　橋本 光明

特徴

長野県信濃美術館

長野県信濃美術館は、善光寺に隣接する城山公園内に、「長野県に美術館をたてよう」という県民の声を受けて昭和41年に財団法人として発足し、同44年に県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館として活動しています。郷土作家の作品、美しい自然に恵まれた信州の風景画を中心とした収蔵品の公開と、年に4回程の企画展を開催、また、美術団体などに作品発表の場も提供しています。

■長野県信濃美術館　企画展　4つの柱

長野県信濃美術館では、収蔵品展の他に、以下の4つの柱に基づく企画展を開催し、様々な芸術や文化と出合う機会を提供します。

1. 長野県ゆかりの作家や文化を紹介する「学ぶよろこび（信州の美術）」

県出身作家や地域文化の顕彰は、県立美術館の欠かせない活動です。県出身作家や地域文化を地道に調査し、顕彰する展覧会を行っていきます。

2. 国内、世界の作品を紹介する「好奇心を刺激する（多様な美術）」

多くの人に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供するという、県立美術館としての責務を果たす展覧会を行っていきます。

3. 美術になじみのない県民に対し、参加体験をとおして、美術を楽しむ心を醸成する「美術との出会い（楽しむ心づくり）」

子どもの頃に美術館で楽しい体験をしてこなかった人は、大人になってもなかなか美術館に足を運ぶことはありません。美術鑑賞を将来楽しむ人々を育てるために、子どもたちが楽しみながら美術に親しめる展覧会を行います。

4. 深い精神性を表現した作品を紹介する「心のやすらぎ（いのりの美術）」

生きる歓びとともに命の儚さに対する悲しみ、なぐさめも、多くの美術によって表現されています。深い精神性を湛える美術作品をとおして、心のやすらぎを感じられる企画展を開催します。

東山魁夷館

東山魁夷（ひがしやま かいい）館は、長野県が日本画家・東山魁夷（1908-1999）から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年4月に開館しました。収蔵作品数は現在、960点余に及びます。およそ2カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいております。

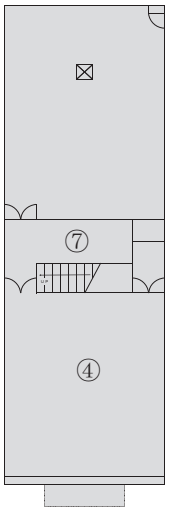
沿革

昭和40年３月23日　財団法人 信濃美術館設立
昭和41年５月28日　財団法人 信濃美術館新築工事完成
（建設費 １億円）
昭和41年10月１日　信濃美術館開館
（敷地面積：7,946平方メートル 延床面積：1,826平方メートル）
昭和44年６月１日　同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日　昭和45年５月着工の第二展示棟増築工事完成
（延床面積：654平方メートル）（建設費 6500万円）
昭和49年３月29日　昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成
（延床面積：333平方メートル）（建設費 5192万円）
昭和54年７月12日　長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年４月１日　管理運営を財団法人 長野県文化振興事業団に委託
昭和62年９月22日　東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日　東山魁夷館の基本構想発表
平成元年12月25日　平成元年８月着工の信濃美術館改修工事完成
平成２年４月26日　東山魁夷館開館
（着工：昭和62年12月 完成：平成２年２月
敷地面積：4,675平方メートル 延床面積：1,698平方メートル）
（建設費 11億円）
平成11年７月15日　東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年３月31日　東山魁夷館側駐車場増設工事完成
（40台から90台へ）
平成18年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成21年３月31日）
平成20年７月17日　東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成26年３月31日）
平成25年４月１日　公益法人制度改革に伴い一般財団法人へ移行
平成26年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成31年３月31日）
平成28年10月１日　長野県信濃美術館開館50周年
平成29年５月31日　東山魁夷館　改修の為、休館
平成29年10月１日　長野県信濃美術館　全面改築の為、休館

施設概要

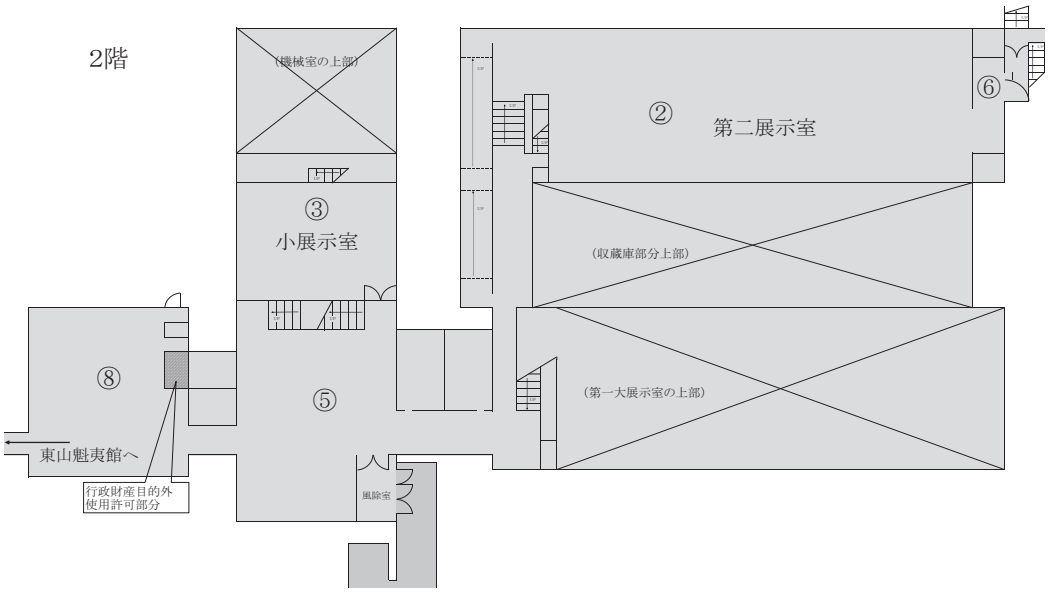
長野県信濃美術館（本館）

3階

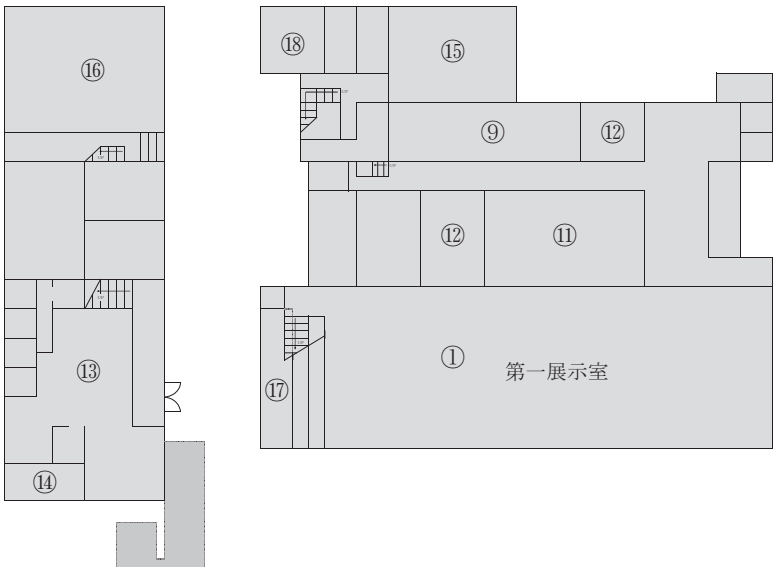


NO		室　　名	面 積（㎡）	小　計
展示	①	第一展示室（大展示室）	403.20	1,065.60
	②	第二展示室（大展示室）	374.40	
	③	小展示室	115.20	
	④	講堂	172.80	
サービス	⑤	受付・ロビー	156.00	361.72
	⑥	受付・ロビー（第二大展示室用）	30.72	
	⑦	受付・ロビー（講堂用）	41.04	
	⑧	カフェ（厨房含む。）	133.96	
収蔵	⑨	収蔵庫１	84.00	566.12
	⑩	収蔵庫２	33.60	
	⑪	収蔵庫３	69.12	
	⑫	収蔵庫前室（２箇所）	57.00	
		その他（収蔵庫機械室、荷解室等）	322.40	
事務学芸	⑬	事務室	106.56	198.24
	⑭	打合せ室	20.16	
	⑮	会議室	71.52	
機械	⑯	機械室	115.20	168.48
	⑰	機械室（第一大展示室）	28.80	
	⑱	機械室（第二大展示室）	24.48	
その他		トイレ、倉庫、廊下　等	736.22	736.22
合　　計			3,096.38	3,096.38

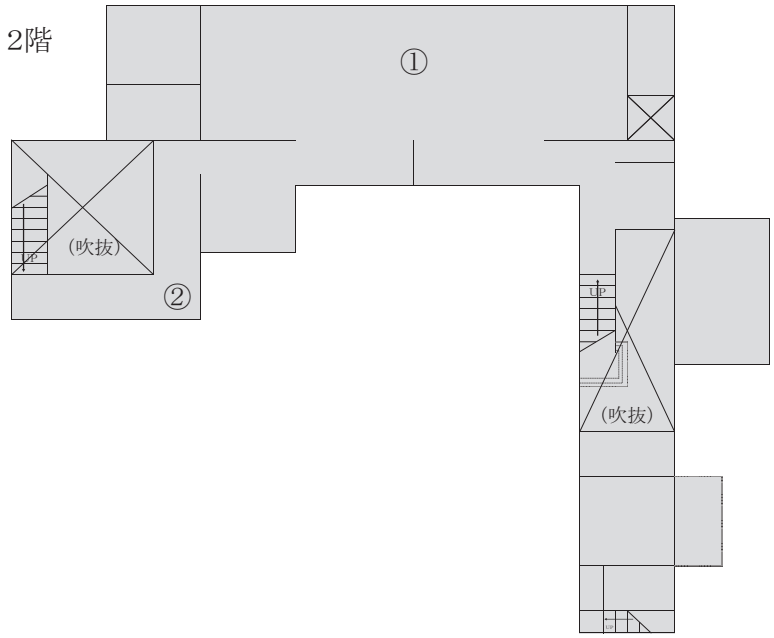
2階

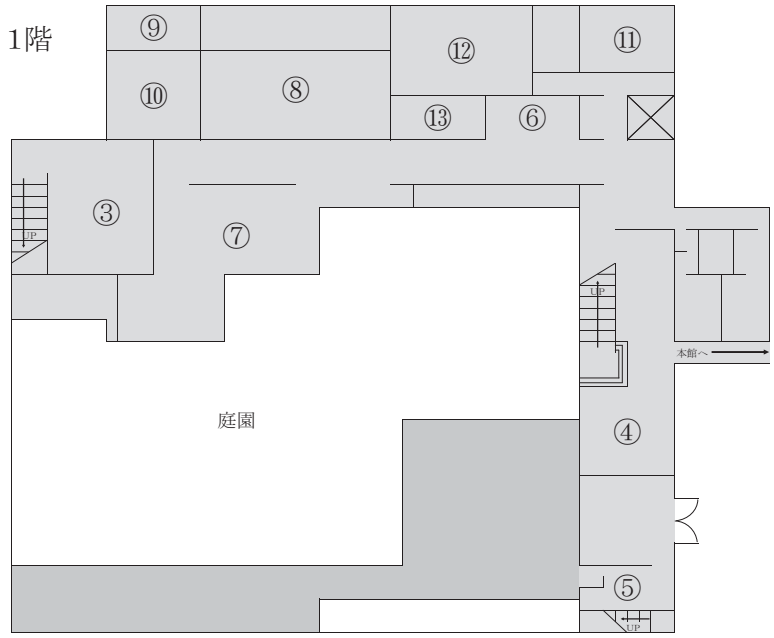


1階



長野県信濃美術館（東山魁夷館）





NO		室　　名	面　積（㎡）	小　計
展示	①	展示室	385.21	544.21
	②	二階展示ギャラリー	79.34	
	③	一階展示ギャラリー	79.66	
サービス	④	エントランスロビー（受付含む）	108.32	237.36
	⑤	コインロッカー室	21.38	
	⑥	ミュージアムショップ	32.55	
	⑦	ラウンジ	75.11	
収蔵	⑧	第１収蔵庫	87.33	152.09
	⑨	第２収蔵庫	23.80	
	⑩	収蔵庫前室	40.96	
事務学芸	⑪	館長室	31.68	145.05
	⑫	研究室１	61.44	
	⑬	研究室２	21.12	
		その他（更衣室、給湯室　等）	30.81	
機械		機械室（１階及び２階、６箇所）	172.14	190.06
		電気室	17.92	
その他		トイレ、倉庫、廊下　等	429.20	429.20
合　　計			1,697.97	1,697.97

長野県信濃美術館条例

（昭和44年3月31日　条例　第32号）

（趣旨）

第１条　この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　美術に関する資料を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するため、長野県信濃美術館（以下「美術館」という。）を長野市に設置する。

（職員）

第３条　美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第４条　美術館に、博物館法第20条の規定による美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

２　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

３　協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（利用の許可）

第５条　美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者（地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）の許可を受けなければならない。

全部改正〔昭和55年条例23号〕、一部改正〔平成17年条例59号〕

（指定管理者による管理）

第６条　美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

（指定管理者の指定）

第７条　指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

（指定の申請）

第８条　前条の申請は、教育委員会が定める日までに、教育委員会規則で定めるところにより、申請書に事業計画書（職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。）その他教育委員会規則で定める書類を添付して行うものとする。

（候補者の選定の基準）

第９条　第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

(1) 事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

(2) 一般住民の平等な利用が確保されること。

(3) 事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。

(4) 指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。

(5) 県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。

(6) 地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

（指定の告示）

第10条　教育委員会は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

追加〔平成17年条例59号〕、一部改正〔平成20年条例17号〕

（業務の範囲）

第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術作品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術作品に関し必要な説明を行うこと。

(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

(3) 美術館の利用の許可に関する業務

(4) 美術館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）に関する業務

(5) 博物館法第3条第1項第4号から第10号までに掲げる事業に関する業務

(6)　前各号に掲げる業務に附帯する業務

（管理の基準）

第12条　指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術館の休館日について、水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178

号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、木曜日）、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(2) 美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(3) 美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示資料等を汚損した場合その他の教育委員会規則で定める場合に行うことができるものとすること。

(4) 美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。

(5) この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。

(6) 指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。

(7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で教育委員会が定めるもの

（協定の締結）

第13条　教育委員会及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする。

(1) 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項

(2) 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項

（利用料金の納付等）

第14条　美術館の展示資料を観覧する者又は展覧会等の開催のため美術館の展示施設を利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

2　利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

3　利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

（利用料金の減免）

第15条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

(1) 国又は地方公共団体が、教育、学術及び文化の向上を図るため、展覧会、講演会、研修会その他これらに類するものに利用するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第16条　この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

2　この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（別表）（第14条関係）

区　分			単　位	金　額
展示資料を観覧する場合	常設に係る展示資料を観覧する場合		1回について	500円
	特別企画に係る展示資料を観覧する場合		〃	1,400円
展示施設を利用する場合	入場料を徴収して利用する場合	大展示室	1室1日について	24,000円
		小展示室	〃	12,000円
	入場料を徴収しないで利用する場合	大展示室	〃	14,000円
		小展示室	〃	7,000円

長野県信濃美術館規則

（昭和44年5月19日　教育委員会規則第6号）

（趣旨）

第１条　この規則は、長野県信濃美術館条例（昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。）第16条の規定により、長野県信濃美術館（以下「美術館」という。）の管理等及び美術館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議会）

第２条　条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が召集する。

2　協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて召集する。

3　協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

（利用の許可等）

第3条　美術館の展示施設を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、次に掲げる事項を記載した申請書を条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者（以下「指定管理者」という。）に提出して申請しなければならない。

(1) 利用目的
(2) 利用する展示施設の名称
(3) 利用期間
(4) 入場料を徴収する場合にあっては、その旨
(5) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項

2　美術館の展示資料を観覧する者は、条例第5条の規定により許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

3　指定管理者は、第1項の申請に対し展示施設の利用を許可したときはその利用許可書を、第2項の申請に対し展示資料の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

（利用取消届）

第４条　前条第3項の規定による利用許可書の交付を受けた者が、展示施設の利用の申請の取消しをしようとするときは、当該利用開始日前7日までに、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

（遵守事項）

第５条　美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 展示施設、展示資料等をき損し、又は汚損しないこと。
(2) 美術館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけないこと。
(3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
(4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

（利用後の処理と損害の賠償）

第６条　利用者は、利用を終わったときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

2　利用者は、展示施設、展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（指定の申請）

第７条　条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書（別記様式）によるものとする。

2　条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの（以下この項において「申請者」という。）について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

(1) 定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの
(2) 申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請書の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの
(3) 申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類
(4) 役員の名簿及び履歴書
(5) 申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類
(6) 申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書
(7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合）

第８条　条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

（補則）

第９条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附　則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

様　式（省略）

歴代館長

歴代館長

山　田　邦　夫	昭和41年10月１日～昭和44年５月31日	※財団法人　信濃美術館
西　沢　千　秋	昭和44年６月１日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮　沢　　寿	昭和46年12月１日～昭和47年11月30日	
藤　森　治　幸	昭和47年12月１日～昭和53年３月31日	
鵜　野　　孝	昭和53年４月１日～昭和57年１月31日	
大　友　博　幸	昭和57年２月１日～昭和57年３月31日	教育次長兼
竹　本　春　男	昭和57年４月１日～昭和58年３月31日	
佐　藤　義　人	昭和58年４月１日～昭和59年３月31日	
伊　藤　万寿雄	昭和59年４月１日～昭和60年３月31日	
三　沢　国　臣	昭和60年４月１日～昭和61年３月31日	
山　本　正　男	昭和61年４月１日～平成14年３月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松　本　　猛	平成14年４月１日～平成22年４月30日	
橋　本　光　明	平成23年４月８日～平成30年３月31日	

平成29年度長野県信濃美術館協議会委員

若麻績　信　昭	善光寺　寺務総長
渡　辺　雅　義	信越放送株式会社　代表取締役社長
小　坂　壮太郎	信濃毎日新聞社　代表取締役社長
石　川　利　江	有限会社 ISHIKAWA・地域文化企画室代表
古　田　　亮	東京藝術大学大学美術館　准教授
中　平　紀　子	長野県美術教育研究会（小布施中学校教諭）
和　田　　功	信州大学繊維学部　先進繊維・感性工学科　学科長
猿　渡　紀代子	公益財団法人三渓園保勝会　副理事長
大　月　ヒロコ	有限会社イデア　代表取締役
バーナー　節子	飯田市立鼎中学校　PTA 役員

展覧会概要

(1) 当館主催展覧会

長野県信濃美術館（本館）

展覧会名		会期	日数	入場者数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
①企画展	ありがとう、さようなら信濃美術館　休館前の最後の絵画展 花ひらくフランス風景画 珠玉の名品　ミレー／コロー／シスレー／モネ	4/15～6/18	57	16,052	515	959	1,129	2,278	20,933
	ウィンザーチェア 日本人が愛した英国の椅子	7/1～8/27	51	2,396	745	253	426	277	4,097
	信濃美術館クロージング ネオヴィジョン　新たな広がり	9/16～9/30	13	855	1,296	73	383	95	2,702
計			121	19,303	2,556	1,285	1,938	2,650	27,732

東山魁夷館

展覧会名		会期	日数	入場者数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
特別展	東山魁夷館改修前特別展 東山魁夷　永遠の風景 ―館蔵本制作一挙公開―	3/30～5/30	55	19,501	1,536	954	903	2,039	24,933
計			55	19,501	1,536	954	903	2,039	24,933

(2) 特別イベント

展覧会名	会期	日数	入場者数	使用会場
アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館	2018年2/27～3/4	5	956	第一、二展示室
解体直前 アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館	2018年3/5～3/31	23	2,663	第一、二展示室
計		28	3,619	

(3) 移動展

会場名		会期	日数	入場者数					
				有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
①信濃美術館	東御市　梅野記念絵画館	10/4～10/9	6	136	85	5	0	2	228
	飯田市　遠山郷土館	11/12～11/18	7	208	8	12	125	0	353
	松川村　すずの音ホール	2018年1/20～1/28	9	246	80	24	77	10	437
②東山魁夷館	伊那市　長野県伊那文化会館	10/21～11/19	26	1,492	101	82	27	78	1,780
計			48	2,082	274	123	229	90	2,798

(4) 貸館による展覧会

展覧会名	会期	日数	入場者数	使用会場
第70回長野県書道展	9/3～9/10	7	2,717	第一、二展示室
計		7	2,717	

ありがとう、さようなら信濃美術館　休館前の最後の絵画展

花ひらくフランス風景画

珠玉の名品　ミレー／コロー／シスレー／モネ

17世紀から20世紀初頭までのヨーロッパ、特にフランスにおける風景画の展開を紹介した。17世紀の神話画や宗教画の背景に描かれた、理想化された風景描写に始まり、19世紀半ば以降、バルビゾン派や印象派の台頭により、風景画が一躍人気画題となるまでの変遷を、珠玉の名品の数々で読み解いた。

また、当館の収蔵品の中から、信州ゆかりの洋画家が描いたフランスの風景画を併せて展示した。

■会期　平成29年4月15日(土)～6月18日(日)　(57日間)
■会場　長野県信濃美術館(第1展示室・第2展示室・小展示室)
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館、信濃毎日新聞社、公益財団法人信毎文化事業財団
(共催)長野県教育委員会、長野放送
(特別協力)山寺 後藤美術館、ヤマトロジスティクス株式会社
(企画協力)産経新聞社、株式会社テモアン
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、JR 東日本 長野支社
■観覧料　大人1,200(1,100)円、大学生1,000(900)円、高校生以下無料、その他割引制度
※(　)内は20名以上の団体料金
■入館者数　20,933人(有料：16,052人　無料：4,881人)
■担当学芸員　大野織江、木内真由美
■図録(主要目次)
風景画を読み解く―コロー、ルソーから印象派へ(島田紀夫)／図版(章解説＝島田紀夫、作品解説・コラム＝大野織江、木内真由美)
■イベント　①講演会「西洋風景画の展開」／講師：島田紀夫氏(本展監修者、美術評論家、前ブリヂストン美術館館長)／日時：4月15日(土)13:30～15:00 ／場所：長野県信濃美術館3階講堂／参加人数：83人※
②ミニ講座／日時：4月23日(日)／場所：長野県信濃美術館ロビー／参加人数：31人
③ベビーカーツアー／ 5月11日(木)参加人数：11人／6月8日(木)参加人数：13人
④ギャラリートーク／ 4月22日(土)※参加人数：15人／4月29日(土)参加人数：25人／ 5月6日(土)23人／5月13日(土)参加人数：12人／ 5月20日(土)※参加人数：20人／ 5月27日(土)参加人数：25人／ 6月3日(土)参加人数：22人／ 6月10日(土)参加人数：28人／6月17日(土)参加人数：20人

※手話通訳、要約筆記付き

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年代	技法・素材	寸法(cm)	所蔵
第1章　風景画の起源							
宗教画の背景							
1	ジョヴァンニ・フランチェスコ・グリマルディ	1606-1680	聖ペテロと漁夫のいる風景	不詳	油彩、カンヴァス	74.3×98.0	山寺 後藤美術館
2	ジュゼッペ・バルトロメオ・キアーリ	1654-1727	エジプトからの帰還途中の休息	不詳	油彩、カンヴァス	152.0×114.0	山寺 後藤美術館
3	ヴィットリオ・アメデオ・チニャローリ	1747-1793/1800	エジプトへの逃避	不詳	油彩、カンヴァス	49.0×78.0	山寺 後藤美術館
4	ヴィットリオ・アメデオ・チニャローリ	1747-1793/1800	キリストの洗礼	不詳	油彩、カンヴァス	49.0×78.0	山寺 後藤美術館
5	ジャン＝ジャック・エンネル	1829-1905	荒地のマグダラのマリア	不詳	油彩、カンヴァス	97.0×135.0	山寺 後藤美術館
6	エティエンヌ・アドルフ・ピオ	1850-1910	花売りの娘	不詳	油彩、カンヴァス	129.5×91.5	山寺 後藤美術館
神話画の背景							
7	アンドレア・ロカテッリ	1695-1741	パエトンの死を悲しむ姉妹たち	不詳	油彩、カンヴァス	73.5×98.8	山寺 後藤美術館
8	ニコラ・フランソワ・オクターヴ・タッセール	1800-1874	水浴する女たち	1837年	油彩、カンヴァス	73.0×60.0	山寺 後藤美術館
9	パウル・エミール・ヤーコプス	1802-1866	ディアナ	1832年	油彩、カンヴァス	102.0×127.5	山寺 後藤美術館
10	ジャン＝バティスト・ユエ	1745-1811	羊飼い姿のヴィーナス	不詳	油彩、カンヴァス	62.0×150.0	山寺 後藤美術館
第2章　風景画の展開							
オランダ派							
11	ヤーコブ・ファン・ロイスダール	1628/29-1682	小川と森の風景	不詳	油彩、カンヴァス	103.0×130.5	山寺 後藤美術館
イングランド派							
12	ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー	1775-1851	ウスターシャーの眺め	1794年	水彩・鉛筆、紙	31.8×41.9	山寺 後藤美術館
13	フレデリック・リチャード・リー	1798-1879	風の強い日	1852年	油彩、カンヴァス	67.3×118.1	山寺 後藤美術館
14	エドワード・チャールズ・ウィリアムズ	1807-1881	水車の脇に人のいる森の中の川の風景	不詳	油彩、カンヴァス	99.0×150.0	山寺 後藤美術館
ロマン主義的風景画							
15	ルイ＝ガブリエル＝ウジェーヌ・イザベイ	1803-1886	難破船	1856年	油彩、カンヴァス	95.3×142.2	山寺 後藤美術館
16	ポール・ユエ	1803-1868	春の朝	1834年	油彩、カンヴァス	98.0×162.0	山寺 後藤美術館
17	ポール・ユエ	1803-1868	羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、カンヴァス	65.5×81.0	山寺 後藤美術館
18	ポール・ユエ	1803-1868	ピカルディー地方のセント・バリエ近郊の塩田	不詳	油彩、カンヴァス	97.2×162.0	山寺 後藤美術館
19	ジョルジュ・ミシェル	1763-1843	木立の道を行く木こりの荷馬車	不詳	油彩、カンヴァス	71.0×106.0	山寺 後藤美術館
20	ジョルジュ・ミシェル	1763-1843	遠くに風車の見える収穫する農夫のいる風景	不詳	油彩、カンヴァス	59.0×73.0	山寺 後藤美術館
21	ジョルジュ・ミシェル	1763-1843	夕暮れの風景	不詳	油彩、カンヴァス	50.0×87.0	山寺 後藤美術館
22	テオドール・ジェリコー	1791-1824	戦い(サルヴァトール・ローザの模写)	不詳	油彩、カンヴァス	43.7×64.5	山寺 後藤美術館
23	ギュスターヴ・ドレ	1832-1883	城の夕暮れ	不詳	油彩、カンヴァス	115.5×58.5	山寺 後藤美術館
オリエンタリスム(東方趣味)							
24	アレクサンドル・ドカン	1803-1860	アナトリア風景	1851年	油彩、カンヴァス	68.5×94.5	山寺 後藤美術館
レアリスト							
25	ギュスターヴ・クールベ	1819-1877	ピュイ・ノワール渓谷	1865年	油彩、カンヴァス	65.0×81.5	山寺 後藤美術館
26	ギュスターヴ・クールベ	1819-1877	オルナンの渓谷	1865年	油彩、カンヴァス	73.0×92.0	山寺 後藤美術館
27	ギュスターヴ・クールベ	1819-1877	波	1874年頃	油彩、カンヴァス	113.5×145.0	山寺 後藤美術館

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年代	技法・素材	寸法(cm)	所蔵
第3章　近代風景画の誕生―バルビゾン派とその周辺							
バルビゾン派のプレイヤード(七星)							
28	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	ポーリーヌ・オノの叔父、ギヨーム・ルミィの肖像	1841年頃	油彩、カンヴァス	65.0×54.0	山寺 後藤美術館
29	ジャン＝フランソワ・ミレー	1814-1875	庭にて	1860-62年	パステル・水彩・クレヨン、紙	31.5×36.5	山寺 後藤美術館
30	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	1796-1875	サン＝ロー近くの丘と牧場	1835-40年頃	油彩、カンヴァス	46.3×75.5	山寺 後藤美術館
31	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	1796-1875	大きな木のある浅瀬	1870年頃	油彩、カンヴァス	57.0×82.0	山寺 後藤美術館
32	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	1796-1875	サン＝ニコラ＝レ＝ザラスの川辺	1872年	油彩、カンヴァス	52.0×63.0	山寺 後藤美術館
33	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	1796-1875	水車小屋のある水辺	1855-65年頃	油彩、カンヴァス	36.0×23.0	山寺 後藤美術館
34	テオドール・ルソー	1812-1867	ノルマンディーの風景	1832-33年頃	油彩、カンヴァス	73.5×92.5	山寺 後藤美術館
35	テオドール・ルソー	1812-1867	森の中の猟犬	1839年	油彩、カンヴァス	33.3×46.0	山寺 後藤美術館
36	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1817-1878	山間風景、コートレ	1873年	油彩、カンヴァス	97.8×130.8	山寺 後藤美術館
37	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1817-1878	オワーズ川のほとりの村	1876年	油彩、パネル	38.7×67.0	山寺 後藤美術館
38	シャルル＝フランソワ・ドービニー	1817-1878	川辺の風景	不詳	油彩、カンヴァス	47.0×80.0	山寺 後藤美術館
39	ジュール・デュプレ	1811-1889	月明かりの海	1870年代	油彩、カンヴァス	81.0×100.0	山寺 後藤美術館
40	ジュール・デュプレ	1811-1889	森の中の川で水を飲む牛	不詳	油彩、カンヴァス	47.0×56.5	山寺 後藤美術館
41	ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807-1876	セラグリオ(後宮)の女たち	1860年	油彩、カンヴァス	43.2×63.5	山寺 後藤美術館
42	ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807-1876	フォンテーヌブローの森	1868年	油彩、カンヴァス	80.5×106.0	山寺 後藤美術館
43	ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	1807-1876	フォンテーヌブローの森の小径	1871年	油彩、板	57.7×76.7	山寺 後藤美術館
44	コンスタン・トロワイヨン	1810-1865	小川で働く人々	不詳	油彩、カンヴァス	80.6×65.4	山寺 後藤美術館
45	コンスタン・トロワイヨン	1810-1865	草を食む牛	1856年	油彩、カンヴァス	66.6×101.0	山寺 後藤美術館
46	コンスタン・トロワイヨン	1810-1865	水を飲む牛	不詳	油彩、カンヴァス	55.5×74.0	山寺 後藤美術館
バルビゾン派周辺の動物画家							
47	シャルル・エミール・ジャック	1813-1894	森の中の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、カンヴァス	41.8×67.3	山寺 後藤美術館
48	シャルル・エミール・ジャック	1813-1894	丘の上の羊飼いの少女と羊の群れ	不詳	油彩、カンヴァス	72.5×101.0	山寺 後藤美術館
49	シャルル・エミール・ジャック	1813-1894	月夜の羊飼い(帰路)	不詳	油彩、カンヴァス	71.0×100.0	山寺 後藤美術館
50	シャルル＝フェルディナン・セラマノ	1829-1909	羊の番をする羊飼い	1881年	油彩、カンヴァス	100.0×80.0	山寺 後藤美術館
51	ジャン・フェルディナン・シェニョー	1830-1906	バルビゾンの野の羊飼いと羊の群れ	不詳	油彩、カンヴァス	73.5×100.7	山寺 後藤美術館
バルビゾン派周辺の風景画家							
52	アントワーヌ・シャントルイユ	1816-1873	黄昏	不詳	油彩、カンヴァス	50.3×100.0	山寺 後藤美術館
53	アレクサンドル・ドフォー	1826-1900	鶏のいる風景	不詳	油彩、カンヴァス	67.5×101.0	山寺 後藤美術館
54	アレクサンドル・ドフォー	1826-1900	オワーズ川の風景	1867年	油彩、カンヴァス	65.5×92.5	山寺 後藤美術館
55	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	1819-1916	月明かりの湖	1870年	油彩、カンヴァス	71.0×101.5	山寺 後藤美術館
56	レオン・ヴィクトール・デュプレ	1816-1879	風車のある川辺の風景	1870年	油彩、カンヴァス	48.2×72.4	山寺 後藤美術館
57	ジュール・ジャック・ヴェイラサ	1828-1893	橋のたもとにて	1876年	油彩、カンヴァス	94.0×132.0	山寺 後藤美術館
58	レオン・リシェ	1843/47-1907	沼地の風景	不詳	油彩、カンヴァス	66.1×81.9	山寺 後藤美術館
59	ジュリアン・デュプレ	1851-1910	乳牛と農婦	不詳	油彩、カンヴァス	60.0×80.6	山寺 後藤美術館
60	エメ・ペレ	1847-1927	羊飼いの少女	不詳	油彩、カンヴァス	73.7×60.3	山寺 後藤美術館

No.	作家名	作家生没年	作品名	制作年代	技法・素材	寸法(cm)	所蔵
第4章　風景画の勝利－印象派							
61	アルマン・ギヨマン	1841-1927	ロバンソンの散歩	1878年頃	油彩、カンヴァス	51.1×61.4	ポーラ美術館
62	アルマン・ギヨマン	1841-1927	アリエ河畔のサン＝ジュリアン＝デ＝シャーズ	1895年頃	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	松岡美術館
63	ウジェーヌ・ブーダン	1824-1898	アブヴィル近くのソンム川	1890-94年	油彩、カンヴァス	61.0×50.0	公益財団法人吉野石膏美術振興財団(山形美術館に寄託)
64	ウジェーヌ・ブーダン	1824-1898	トリスタン島の眺望、朝	1895年	油彩、カンヴァス	50.7×74.1	ポーラ美術館
65	カミーユ・ピサロ	1830-1903	羊飼いの女	1887年頃	グワッシュ、紙	63.0×48.0	松岡美術館
66	カミーユ・ピサロ	1830-1903	カルーゼル橋の午後	1903年	油彩、カンヴァス	54.0×65.0	松岡美術館
67	アルフレッド・シスレー	1839-1899	ヒースの原	1880年	油彩、カンヴァス	50.0×73.0	個人蔵
68	アルフレッド・シスレー	1839-1899	ロワン河畔、朝	1891年	油彩、カンヴァス	59.6×57.4	ポーラ美術館
69	クロード・モネ	1840-1926	アムステルダムの港	1874年	油彩、カンヴァス	60.0×81.4	ヤマザキマザック美術館
第5章　信州ゆかりの洋画家たちの描いたフランス風景							
70	浅井忠	1856-1907	グレー風景	1901年	水彩、紙	25.3×36.5	信越放送株式会社(長野県信濃美術館に寄託)
71	清水多嘉示	1897-1981	ビラ・ファルギェール	1923-27年	油彩、カンヴァス	65.2×50.0	長野県信濃美術館
72	小山周次	1885-1967	セエヌ河の乗船場	1924年	水彩、紙	28.2×38.8	長野県信濃美術館
73	小山周次	1885-1967	セエヌ河の洗濯船	1924年	水彩、紙	27.9×39.1	長野県信濃美術館
74	小山周次	1885-1967	セエヌ河の浴場船	1924年	水彩、紙	27.8×39.1	長野県信濃美術館
75	林倭衛	1895-1945	南フランス風景	1928年	油彩、カンヴァス	65.1×90.9	長野県信濃美術館
76	林倭衛	1895-1945	エクス風景	1929年	油彩、カンヴァス	24.3×33.4	長野県信濃美術館
77	林倭衛	1895-1945	パリ郊外	1922-23年	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	長野県信濃美術館
参考	小山敬三	1897-1987	サン・フランソワ寺院内庭	1925年	油彩、カンヴァス	79.2×99.2	長野県信濃美術館

ウィンザーチェア　日本人が愛した英国の椅子

ウィンザーチェアは、18世紀前半にイギリスで生まれたとされる木製の椅子である。座面も背もすべて木で作られ、シンプルな美しさと機能性を兼ね備え、時代を経ることによってローカリズムとグローバリズムを強めながら各生産地で独自の展開をとげた。日本では早くから柳宗悦、芹沢銈介、池田三四郎ら民藝運動のなかで注目されるとともに、西洋家具の象徴として認知されてきた。

本展では、現在、日本にある18～19世紀に作られたウィンザーチェアの優品を展観し、自然の素材と確かな手法による造形美を紹介した。

■会期　平成29年7月1日(土)～8月27日(日)　(51日間)
■会場　長野県信濃美術館(第1展示室・第2展示室)
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館
(共催)長野県教育委員会、(公財)日本民藝館
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送
■観覧料　大人800(700)円、大学生600(500)円、高校生以下無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　4,097人(有料：2,396人　無料：1,701人)
■担当学芸員　瀬尾典昭、福士恵子
■図録(主要目次)
ウィンザーチェアとは何か(西川栄明)／松本民芸家具とウィンザーチェア(池田素民)／柳宗悦とウィンザーチェア(月森俊文)／解説：ウィンザーチェアについて(瀬尾典昭)
■イベント　①講演会「ウィンザーチェアとは何か―その魅力と歴史」／講師：西川栄明氏(編集者、椅子研究者)／日時：7月1日(土)13:30～15:00／場所：長野県信濃美術館3階講堂／参加人数：72人※
②ブロガー内覧会／7月9日(日)17:20～19:30／場所：展示室／参加人数：24人
③木のワークショップ
(1)「イタヤカエデでスツールを作る」／講師：大橋博文氏(木工作家・木工房グルッペ)／日時：7月16日(日)13:30～16:30／場所：長野県信濃美術館3階講堂／参加人数：6人
(2)「木のスプーンを作る」／講師：コバヤシユウジ氏(木工作家・木の生活道具)／日時：7月22日(土)10:30～12:00　参加人数：6人、同日13:00～15:00　参加人数：6人
④こどもワークショップ「怪獣をつくろうか、ゲームにしようか？」／講師：谷進一郎氏(木工作家)／7月30日(日)13:30～16:00／参加人数：17人
⑤ギャラリートーク／7月8日(土)参加員数：20人／7月15日(土)※参加人数：5人／7月22日(土)参加人数：6人／7月29日(土)参加人数：3人／8月5日(土)参加人数：5人／8月12日(土)参加人数：4人／8月19日(土)※参加人数：3人／8月26日(土)参加人数：0人
⑥ベビーカーツアー／7月13日(木)参加人数：0人、8月17日(木)　参加人数：0人
⑦ミニ講座／日時：7月23日(日)／場所：長野県信濃美術館ロビー／参加人数：6人

※手話通訳、要約筆記付き

No.	名　称	産地	時代	寸法(cm)	所蔵
ウィンザーチェア					
1	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	102.5×64.5×48	松本民芸生活館
2	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	101×53×53	村田コレクション
3	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	106×66.5×46	個人蔵
4	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	106×57.5×72	日本民藝館
5	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	122.2×65×60.5	個人蔵
6	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	99×67×53.5	個人蔵
7	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	97.5×62.5×61	松本民芸生活館
8	コムバック・アームチェア	イギリス	18世紀	88×61×60	村田コレクション
9	コムバック・アームチェア	イギリス	18-19世紀	75.5×47×36	村田コレクション
10	コムバック・アームチェア　子供用	イギリス	18世紀	85.5×46.5×54.5	松本民芸生活館
11	コムバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	18世紀	101×69.8×65	松本民芸生活館
12	コムバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	18世紀	110×69×60	個人蔵
13	コムバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	18-19世紀	114×55.7×45	松本民芸生活館
14	コムバックチェア　スプラットタイプ	イギリス	18世紀	88×43×45	個人蔵
15	ファンバックチェア	イギリス	18世紀	86×42.5×44.5	個人蔵
16	スティックバック・アームチェア	イギリス	18世紀	91.5×62.5×66.5	松本民芸生活館
17	スティックバック・アームチェア	アメリカ	18世紀	67.5×58×45.5	松本民芸生活館
18	スティックバック・アームチェア	イギリス	19世紀	61×74×40	個人蔵
19	スティックバック・アームチェア 子供用	イギリス	19世紀	59×43×33	個人蔵
20	スティックバックチェア	イギリス	19世紀	73×36×39	村田コレクション
21	スティックバックチェア　子供用	イギリス	19世紀	33.5×40×24.5	村田コレクション
22	ロウバックチェア	イギリス	18世紀	74×57.5×48.5	松本民芸生活館
23	ロウバックチェア	イギリス	18世紀	68×66×49	個人蔵
24	ロウバックチェア	イギリス	19世紀	79×58×60	静岡市立芹沢銈介美術館
25	ロウバックチェア　子供用	イギリス	18世紀	46×50×39	村田コレクション
26	ロウバックチェア　子供用	イギリス	18世紀	32.6×38.1×23.8	松本民芸生活館
27	ロウバックチェア　スプラットタイプ	イギリス	19世紀	74×64.5×52.5	個人蔵
28	ボウバック・アームチェア	イギリス	18世紀	95×46.5×34	村田コレクション
29	ボウバック・アームチェア	イギリス	18世紀	89×55×50	村田コレクション
30	ボウバック・アームチェア	アメリカ	18世紀	93.5×67.5×54	松本民芸生活館
31	ボウバック・アームチェア	イギリス	18-19世紀	111.5×54.5×56	個人蔵
32	ボウバック・アームチェア	イギリス	19世紀	73.5×55.5×53.5	個人蔵
33	ボウバック・アームチェア	イギリス	19世紀	95×64×56	村田コレクション
34	ボウバック・アームチェア	イギリス	19世紀	53×30×25	村田コレクション
35	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	18-19世紀	102.5×37×45	松本民芸生活館
36	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	111×54×68.5	日本民藝館
37	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	88×50.5×61.5	日本民藝館
38	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	85.5×47×49	村田コレクション

No.	名　称	産地	時代	寸法(cm)	所蔵
39	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	87×51×59.5	日本民藝館
40	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	86×51×51	静岡市立芹沢銈介美術館
41	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ	イギリス	19世紀	88×51×48	村田コレクション
42	ボウバック・アームチェア スプラットタイプ　子供用	イギリス	19世紀	63×36.5×49	日本民藝館
43	ボウバック・アームチェア トリプルスプラットタイプ	イギリス	19世紀	90×47×42	村田コレクション
44	ボウバック・アームチェア ゴシックスタイル	イギリス	19世紀	91×44×51	村田コレクション
45	ボウバックチェア　スプラットタイプ	イギリス	19世紀	90×46×46.5	日本民藝館
46	ボウバックチェア　スプラットタイプ	イギリス	19世紀	86.5×46×50	村田コレクション
47	ボウバックチェア　バンブーターンド	アメリカ	19世紀	95×39×39.5	松本民芸生活館
48	ボウバック・ハイチェア　子供用	イギリス	18世紀	85×29×37	村田コレクション
49	ハイチェア　子供用	イギリス	18世紀	69×47.5×47	個人蔵
50	ハイチェア　子供用	イギリス	19世紀	76×39×30	村田コレクション
51	スクロールバックチェア	イギリス	19世紀	83.5×39.5×44	村田コレクション
52	スクロールバック・アームチェア 子供用	イギリス	19世紀	62×30.5×37	日本民藝館
53	ハイバック・スモーカーズ・アームチェア	アメリカ	19世紀	106×66×58	松本民芸生活館
54	スモーカーズボウ・チェア	イギリス	19世紀	77×67×58	村田コレクション
55	アロウバックチェア	アメリカ	19世紀	80.5×46.5×45.5	松本民芸生活館
56	バンブーターンド・アームチェア	アメリカ	19世紀	89×49.5×52	松本民芸生活館
同時代の多様な椅子					
57	ボーディド・ウィングチェア	イギリス	17世紀	110×65×65.5	松本民芸生活館
58	ダグアウト・アームチェア	イギリス	17世紀	100.6×68×57.8	松本民芸生活館
59	ターンド・アームチェア	イギリス	17世紀	82×58×48	村田コレクション
60	ウェインスコット・チェア	イギリス	17世紀	119.3×61×68.5	松本民芸生活館
61	リネンフォルドの椅子	イギリス	17世紀	108×98.3×43.2	松本民芸生活館
62	ジョインド・バックスツール	イギリス	17世紀	103×44.5×41	村田コレクション
63	バニスターバック・チェア	イギリス	17世紀	109×42×36	静岡市立芹沢銈介美術館
64	バニスターバック・チェア	イギリス	18世紀	92×50×44	村田コレクション
65	パネルバックチェア	イギリス	17-18世紀	100×45.5×41	松本民芸生活館
66	パネルバック・アームチェア	イギリス	18世紀	77×67×58	静岡市立芹沢銈介美術館
67	スピンドルバック・アームチェア	イギリス	18世紀	120×55×60	静岡市立芹沢銈介美術館
68	ポットチェア	イギリス	18世紀	102×62×44	静岡市立芹沢銈介美術館
69	ラスティックチェア	イギリス	19世紀	44×33×24	静岡市立芹沢銈介美術館
70	三本脚の椅子	フィンランド	19世紀	71×36×36	静岡市立芹沢銈介美術館
71	食堂の椅子	イタリア	19世紀	76×55×43	静岡市立芹沢銈介美術館
72	アームチェア(肋骨の椅子)	アメリカ	19世紀	114×43×36	松本民芸生活館
73	ペザントチェア	オーストリア	18-19世紀	84.5×51×46	村田コレクション
74	ペザントチェア	オーストリア	19世紀	78×43.5×42	静岡市立芹沢銈介美術館
75	サイドチェア	フランス	19世紀	77×40×33	静岡市立芹沢銈介美術館
76	サイドチェア	不詳	不詳	90×37.5×45	静岡市立芹沢銈介美術館

No.	名　称	産地	時代	寸法(cm)	所蔵
77	靴ぬぎの椅子	スペイン	19世紀	75×35×50	静岡市立芹沢銈介美術館
78	子供椅子	カナダ	18世紀	41×35×28	松本民芸生活館
79	子供椅子	カナダ	18世紀	51.7×37.5×23.6	松本民芸生活館
80	子供椅子	フィンランド	不詳	54×38.5×31	松本民芸生活館
81	ロングスツール	イギリス	18-19世紀	52×251.5×40.5	日本民藝館
82	ロングスツール	イギリス	18-19世紀	51×245×49	日本民藝館
83	スツール	不詳	18世紀	28×39×30.5	日本民藝館
84	スツール	スペイン	19世紀	23×31×21	村田コレクション
85	スツール	スペイン	19世紀	26×26×25	村田コレクション
86	ラッシュチェア	スペイン	18世紀	91×43×35	静岡市立芹沢銈介美術館
87	スピンドルバック・アームチェア	イギリス	19世紀	110.5×57.5×51.5	日本民藝館
88	スピンドルバックチェア	イギリス	19世紀	93×48×38	村田コレクション
89	ラダーバック・アームチェア	イギリス	19世紀	97.5×56×48	日本民藝館
90	ラダーバックチェア	イギリス	19世紀	103×49×47	日本民藝館
91	ラダーバック・ロッキングアームチェア　子供用	イギリス	19世紀	82×46×54	日本民藝館
92	ラダーバック・アームチェア	イギリス	1930年	108×55×50	日本民藝館
93	ラダーバックチェア	イギリス	1930年	98×48×48	日本民藝館
94	リージェンシースタイル・アームチェア	イギリス	19世紀	89.5×52×48	村田コレクション
95	リージェンシースタイル・アームチェア	イギリス	19世紀	82.5×52×55	村田コレクション
参考	クリケットテーブル	イギリス	18世紀	66.5×径76	個人蔵
参考	ゲートレッグテーブル	イギリス	19世紀	68.5×91×85.5	個人蔵

信濃美術館クロージング　ネオヴィジョン
新たな広がり

リニューアル休館前の最後の展覧会として、信濃美術館の50年以上にわたるこれまでの歩みと未来へ向けた広がりを、建築、コレクション、若手作家の3つのパートから紹介・展示した。

■会期　平成29年9月16日(土)～9月30日(土)　(13日間)
■会場　長野県信濃美術館(第1展示室・第2展示室・小展示室)
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館
(共催)長野県教育委員会
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR 東日本長野支社、信濃毎日新聞社、NHK 長野放送局、信越放送(株)、(株)長野放送、(株)テレビ信州、長野朝日放送(株)、(公財)日本建築家協会[JIA]、(公財)日本建築士会連合会、(公財)信濃教育会
■観覧料　大人：800(700)円、大学生600(500)円、高校生以下無料
※(　)は20名以上の団体料金、その他割引制度
■入館者数　2,702人(有料：855人　無料：1,847人)
■担当学芸員　(総括)松浦千栄子、(第一部)上沢修、松井正、(第二部)瀬尾典昭、福士恵子、(第三部)松浦千栄子、木内真由美
■図録(主要目次)
第一部：信濃美術館建築のあゆみ、沿革、建物概要／信濃美術館と建築家　林昌二(安田幸一)／信濃美術館の特徴(寺内美紀子・信州大学寺内研究室)／鼎談　根橋宏次×安田幸一×寺内美紀子　信濃美術館と林昌二について／インタビュー　信濃美術館の建築について(町田邦男・聞き手　信州大学寺内研究室)
第三部：上田暁子／北村佳奈／倉石太次郎／篠田優／下平千夏／坪内真弓／新村優子／作品リスト
■イベント　①オープニングトーク／講師：第三部出品若手作家7人／日時：9月16日(土)10:30～／場所：展示室／参加人数：70人※
②講演会「信濃美術館と建築家　林昌二」／講師：根橋宏次氏(日建 OB)、安田幸一氏(東京工業大学教授、安田アトリエ主宰)、寺内美紀子氏(信州大学准教授)／日時：9月16日13:30～15:30 ／場所：長野県信濃美術館3階講堂／参加人数：51人※
③ブログ・SNS ユーザー向け特別内覧会／日時：9月16日17:20～18:30 ／場所：展示室／参加人数：10人
④ワークショップ「ピンホールカメラを作ろう」／講師：篠田優氏(写真家・第三部出品作家)／日時：9月17日(日)13:30～15:30 ／場所：長野県信濃美術館3階講堂／参加人数：11人
⑤絵画制作空間パフォーマンスプロジェクト“EN ROUTE”／出演：上田暁子氏(絵画)、山岸直人氏(パーカッション)、新井陽子氏(ピアノ)、ヤコブ・ニグラー氏(サックス)／日時：9月23日(土)14:00～／場所：Café Kaii ／参加人数：67人
⑥ベビーカーツアー／第1部　9月19日(火)参加人数：0人／第2部　9月22日(金)参加人数：8人／第3部　9月26日(火)参加人数：8人

⑦ギャラリートーク／9月17日(日)参加人数：6人／9月23日(土)参加人数：6人／9月24日(日)参加人数：14人／9月30日(土)参加人数：8人※

※手話通訳、要約筆記付き

第1部　建築「信濃美術館と林昌二」（第一会場）

No.	資料名	製作年	所蔵者	寸法（cm）	備考
1	信濃美術館　模型　6分の1（屋根）	2017年		310×260×480	信州大学寺内研究室制作
2	信濃美術館　配置図（第2号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
3	信濃美術館　断面図（第6号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
4	信濃美術館　立面図（第8号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
5	信濃美術館　立面図（第9号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
6	信濃美術館　断面詳細図（第16号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
7	信濃美術館　HP シェル配筋図（第11号図）	1965年	株式会社　日建設計	60.0×83.0	
8	信濃美術館　竣工図	1965年	株式会社　日建設計	39.5×53.9	
9	信濃美術館　施工図	1965年	株式会社　守谷商会	55.8×85.4	
10	建築文化　241号	1966年	株式会社　日建設計		株式会社彰国社発行
11	INAX REPORT No.138	1999年	安田幸一氏		株式会社 INAX 発行
12	信濃美術館　模型　100分の1			20.7×90.0×90.0	信州大学寺内研究室制作

第2部　コレクション「私の、この一点」（第二会場）

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法（cm）	収蔵年（備考）
1	草間彌生	No. PZ	1960年	キャンバス、油彩	269.2×178.0	1995
2	池上秀畝	四季花鳥	1918年	紙本彩色	各239.4×103.5	1982
3	木村武山	慈母観世音	1922年	絹本彩色	186.5×85.0	1997
4	菱田春草	羅浮仙	1901年頃	絹本彩色	124.5×69.5	1980
5	菊池契月	光明皇后	1944年	絹本彩色	142.0×57.5	1979
6	中村研一	緑の中	1959年	キャンバス、油彩	100.0×80.3	1979
7	中村琢二	伊那谷の春	1979年	キャンバス、油彩	91.0×117.0	1979
8	小寺健吉	ゲレンデ	1970年	キャンバス、油彩	91.0×116.7	1978
9	水上民平	裏の沢の春	1967年	キャンバス、油彩	97.0×130.3	1981
10	辻村八五郎	天龍晩夏	1976年	キャンバス、油彩	91.0×116.7	1978
11	石井柏亭	画室小集	1949年	キャンバス、油彩	110.7×160.8	1976
12	安井曽太郎	秋の霞沢岳	1938年	キャンバス、油彩	53.7×69.0	1982
13	梅原龍三郎	浅間山	1957年	紙、油彩・ガッシュ	72.2×90.9	1980
14	小山敬三	暮れゆく浅間	1968年	キャンバス、油彩	145.5×97.0	1979
15	倉島重友	讃	1992年	紙本彩色	170.0×214.5	1992
16	金山平三	結氷	1931年	キャンバス、油彩	60.8×91.0	1982
17	白瀧幾之助	湖畔	1935年	キャンバス、油彩	72.5×91.0	1985
18	丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909年頃	紙、水彩	67.0×101.0	1982
19	川瀬巴水	信州木崎湖	1941年	紙、木版	24.3×36.5	1996
20	斎藤清	競艶	1973年	紙、木版	25.3×29.8	1995
21	小山周次	南瓜と甘藷	1946年	紙、水彩	33.0×52.5	1977
22	川上冬崖	ナポレオン	不詳	紙、水彩	60.4×58.2	1980
23	山本鼎	白菜と赤蕪	1937年	キャンバス、油彩	38.0×45.3	1989
24	清水多嘉示	躍進	1960年	ブロンズ	177.0×40.0×78.5	1969（屋外作品）

第3部　7人の若手作家（第三会場）

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法（cm）	備考
1	上田暁子	モーニングキス	2015年	キャンバス、油彩	194.0×336.0	
2		EN ROUTE	2013年～	キャンバス、油彩	80.3×81.0	
3		まだ舟はいらない	2017年	キャンバス、油彩	194.0×336.0	
4	北村佳奈	trip　MIX	2017年	紙、顔彩	145.5×112.0	
5		お花の十字架	2017年	紙、顔彩	103.0×72.8	
6		collection2	2016年	紙、顔彩	59.4×42.0	
7		stranger	2016年	紙、顔彩	30.0×30.0	

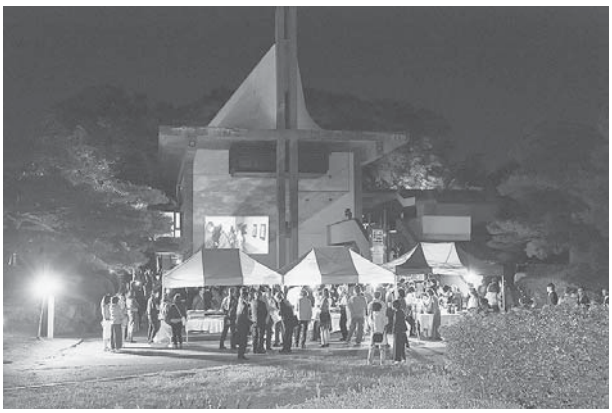
No.	資料名			制作年	材質・形状	寸法(cm)	備考
8			コップンカーとストーン	2017年	紙、顔彩	103.0×72.8	
9			ダイヤモンドの花	2016年	紙、顔彩	21.0×14.8	
10			trip morning	2017年	紙、顔彩	42.0×59.4	
11			PINK	2017年	紙、顔彩	59.4×42.0	
12			光の標本	2016年	紙、顔彩	30.0×30.0	
13			rainbow arm	2017年	紙、顔彩	59.4×42.0	
14			世界の花束	2017年	紙、顔彩	51.5×72.8	
15			existence	2016年	紙、顔彩	27.3×22.0	
16			COSMIC	2017年	紙、顔彩	72.7×72.7	
17			トロピカルな人	2017年	紙、顔彩	116.7×80.3	
18			VACANCE	2017年	紙、顔彩	45.5×38.0	
19	北村佳奈	trip	架空の赤いテーブル	2017年	紙、顔彩	22.0×27.3	
20			flower hand	2016年	紙、顔彩	30.0×30.0	
21			trip1	2017年	紙、顔彩	103.0×72.8	
22			サメット島の貝殻たち	2017年	紙、顔彩	51.5×72.8	
23			TIME	2017年	紙、顔彩	103.0×72.8	
24			JEWELRY	2017年	紙、顔彩	59.4×42.0	
25			RIBON	2016年	紙、顔彩	30.0×30.0	
26			FLUIT	2016年	紙、顔彩	25.7×18.2	
27			collection1	2016年	紙、顔彩	59.4×42.0	
28			trip2	2017年	紙、顔彩	91.0×91.0	
29			氷の花	2016年	紙、顔彩	21.0×14.8	
30			DRESS	2017年	紙、顔彩	59.4×42.0	
31	倉石太次郎		スケッチブック	2003～2006年	紙、色鉛筆・水彩	17.8×24.8	
32			ニコライ堂	2002年	キャンバス、油彩	48.5×38.5	
33			ニコライ堂	2002年	キャンバス、油彩	135.2×101.5	
34			ニコライ堂	2002～2003年	キャンバス、油彩	112.0×194.0	
35			ニコライ堂	2017年	キャンバス、油彩	112.0×194.0	
36	篠田優		Voice(s)_1	2017年	Pigment inkjet print	80.0×100.0	
37			Voice(s)_2	2017年	Pigment inkjet print	80.0×100.0	
38			Voice(s)_3	2017年	Pigment inkjet print	80.0×100.0	
39			Voice(s)_4	2017年	Pigment inkjet print	80.0×100.0	
40			Voice(s)_5	2017年	Pigment inkjet print	80.0×100.0	
41			Voice(s)_6	2017年	Pigment inkjet print	100.0×80.0	
42	下平千夏		かがる(Darning the place)	2017年	輪ゴム、鉄		屋外作品
43			かがる(Darning the space)	2017年	生糸、針、モーター		屋内作品(第2会場にて展示)
44	坪内真弓		波紋時雨	2017年	陶		
45			波紋時雨	2017年	陶		
46			覆われた思惑	2017年	陶	70.0×53.0×48.0	
47			いつも離陸の角度で	2017年	陶	36.0×47.0×36.0	
48			流線のざわめき	2015年	陶	23.0×40.0×37.0	
49			日はまた昇る	2013年	陶	57.0×50.0×50.0	
50			Shelter 12-04	2013年	陶	41.5×36.0×16.5	
51			Shelter 12-02	2012年	陶	37.0×32.0×11.0	
52			Shelter 12-05	2012年	陶	12.0×19.0	
53			Shelter 12-06	2012年	陶	19.5×19.5	
54	新村優子		還るところ	2012年	テラコッタ、藁、映像、雨音		

長野県信濃美術館　クロージングレセプション

クロージング展会期最終日に、これまでお世話になった方々をお招きし、最後に美術館の思い出を語らっていただく機会として、クロージングレセプションを開催した。

■日時　平成29年9月30日(土)17:30〜19:00
※ただし、展覧会は18:00まで開館延長
■会場　長野県信濃美術館前広場

次第
17時30分　開会
主催者あいさつ
長野県　副知事　太田 寛
長野県信濃美術館　館長　橋本光明
来賓あいさつ
長野県議会　副議長　諏訪光昭様
国立大学法人信州大学　学長　濱田州博様
長野市議会　議長　小林治晴様
長野市教育委員会　教育長　近藤 守様
来賓紹介
乾杯
17時50分　下平千夏×シビル・ノイマイヤー
コラボレーションイベント(プロジェクション)解説
18時　美術館思い出話
19時　閉会



東山魁夷館改修前特別展

東山魁夷　永遠の風景

―館蔵本制作一挙公開―

通常年6会期に分けて展示をしている所蔵本制作を、改修を前に一挙公開し、東山魁夷の足跡と魅力をご覧いただいた。また、今回は、岐阜県中津川市にある東山魁夷心の旅路館が所蔵する、東山が18歳の時に御嶽山にキャンプ旅行に訪れた際に、両親あてに出した手紙や、旅行中もつけていた日記を特別にお借りし、長野県と東山魁夷とのつながりをより深くご理解いただく展示とした。

■会期　平成29年3月30日(木)～5月30日(火)　(55日間)
■会場　東山魁夷館
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館
(共催)長野県教育委員会
(後援)長野市、長野市教育委員会、長野県芸術文化協会、長野市商工会議所、善光寺、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本長野支社、信濃毎日新聞社、株式会社テレビ信州
■観覧料　大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金
■入館者数　24,933人(有料：19,501人　無料：5,432人)
■担当学芸員　松浦千栄子、瀬尾典昭
■図録(主要目次)
「東山魁夷館」に寄せて(東山魁夷)／本制作／スケッチ・習作ほか／信州取材地マップ／東山魁夷　年譜／(作品解説＝瀬尾典昭、松浦千栄子)
■イベント　①講演会　「東山魁夷の風景―東山魁夷館の所蔵品から」／講師：尾崎正明氏(茨城県近代美術館　館長)／日時：4月8日(土)13:30～15:00／場所：長野県信濃美術館　講堂／参加人数：36人※
②ブログ・SNSユーザー向け特別内覧会／日時：4月9日(日)17:20～18:45／場所：東山魁夷館展示室／参加人数：19人
③朗読会「両親への手紙　木曽キャンプ旅行時」「白い馬の見える風景」ほか／朗読：株式会社テレビ信州アナウンサー　菅野直道氏／日時：5月13日(土)17:30～18:00／場所：東山魁夷館展示室／参加人数：22人※
④朝ヨガ in 東山魁夷館／講師：内田真由美氏(ヨガインストラクター)／5月27日(土)7:00～9:00／場所：東山魁夷館1階ラウンジ／参加人数：15人
⑤ギャラリートーク／4月1日(土)参加：25人／4月15日(土)参加人数：40人／4月22日(土)※参加人数：55人／4月29日(土)参加人数：40人／5月6日(土)参加人数：38人／5月13日(土)参加人数：45人／5月20日(土)※参加人数：35人／5月27日(土)参加人数：35人
⑥ベビーカーツアー／4月4日(火)参加人数：15人／5月9日(火)参加人数：12人

※手話通訳、要約筆記付き

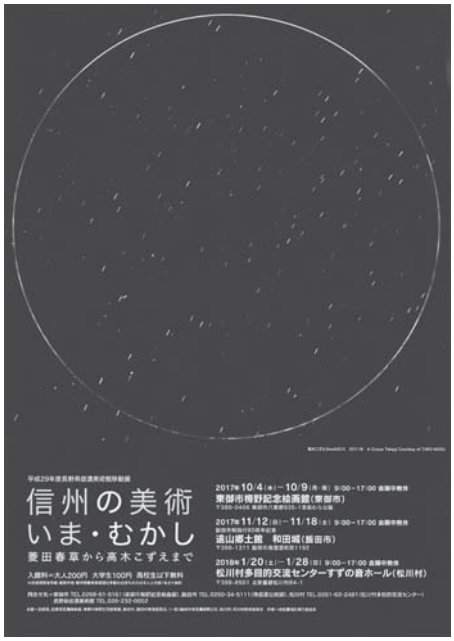
No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	所蔵
序　長野とのつながり							
1	静映	1982	74	長野県民文化会館中ホール緞帳原画	紙本彩色	長野県斑尾高原 希望湖	長野県信濃美術館
1　若き日の模索							
2	自画像	1923	15		カンヴァス、油彩		
3	牡丹図	1927	19	本制作	絹本彩色	東京都下落合	
4	柿生の里	1928	20	本制作	絹本彩色	神奈川県川崎市柿生	
5	祭りの夜	1929	21	本制作	絹本彩色	東京都　靖国神社	
6	紅葉の谷	1952	44	本制作	紙本彩色		
7	石の窓	1971	63	本制作	紙本彩色	ドイツ ネルトリンゲン	
8	山谿秋色	1932	24	本制作	紙本彩色	長野－群馬県 志賀高原	
9	深秋	1942	34	本制作	絹本彩色		
10	手紙	1926	18		紙、インク		東山魁夷心の旅路館 （岐阜県中津川市）
11	手紙	1926	18		紙、インク		東山魁夷心の旅路館 （岐阜県中津川市）
12	日記	1926	18		紙、インク		東山魁夷心の旅路館 （岐阜県中津川市）
13	草花手習帖　上	1938	30	画帖	紙本彩色		
14	旅だより画帖	1940-47頃	32～39頃	画帖	紙本彩色		
15	『コドモノクニ』第9巻第3号	1930年3月	22	雑誌、東京社			
16	『コドモノクニ』第9巻第5号	1930年5月	22	雑誌、東京社			
2　ヨーロッパ風景							
17	窓	1971	63	本制作	紙本彩色	ドイツ ローテンブルク	
18	静唱	1981	73	本制作	紙本彩色	フランス　パリ ソー公園	
3　白い馬の見える風景							
19	水辺の朝	1972	64	本制作	紙本彩色	ドイツ北部 オイティン	
20	草青む	1972	64	本制作	紙本彩色	デンマーク ヒレレズ	
21	白馬の森	1972	64	本制作	紙本彩色	山梨県富士山五合目 ブナ原生林	
22	緑響く	1982	74	本制作	紙本彩色	長野県茅野市 奥蓼科　御射鹿池	
4　信州・日本の風景							
23	夕静寂	1974	66	本制作	紙本彩色	長野県―岐阜県 奥穂高	
24	山霊	1987	79	本制作	紙本彩色	長野県―岐阜県 安房峠／中国 安徽省黄山	
25	沼	1993	85	本制作	麻布彩色	長野県戸隠　古池	
26	秋思	1988	80	本制作	紙本彩色	奈良県天理市 石上神宮付近	
5　唐招提寺御影堂障壁画　関連作							
27	桂林月夜	1976	68	本制作	紙本彩色	中国　桂林	
28	灘江暮色	1978	70	本制作	紙本彩色	中国　桂林	
29	黄山雨過	1978	70	本制作	紙本彩色	中国　安徽省黄山	
30	静晨	1994	86	本制作	麻布彩色	長野県長野市郊外 芋井	
6　風景の枠							
31	緑の窓	1983	75	本制作	紙本彩色	ドイツ　ラムサウ	

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	所蔵
32	春兆	1982	75	本制作	紙本彩色	デンマーク コペンハーゲン	
33	沼の静寂	1983	76	本制作	紙本彩色	オーストリア インスブルック	
7　衰えぬ創作意欲							
34	霧氷の譜	1985	77	本制作	紙本彩色	ドイツ北部 / 長野県 松本市乗鞍岳	
35	行く秋	1990	82	本制作	紙本彩色	ドイツ北部	
36	聖夜	1994	86	本制作	麻布彩色	ドイツ南部 オーバーアウ	
37	冬の旅	1989	81	本制作	紙本彩色	秋田県鹿角市　湯瀬	
8　代表的連作							
38	倉庫	1963	55	本制作	紙本彩色	デンマーク コペンハーゲン	
39	白夜光	1962	54	北欧風景習作	紙本彩色	フィンランド クオピオ	
40	花明かり	1964～66	56～58	連作“京洛四季”習作	紙本彩色	京都府　円山公園	
41	晩鐘	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	ドイツ フライブルク	
42	唐招提寺月明	1973～85	65～77	大和春秋習作	紙本彩色	奈良県　唐招提寺	
43	静かな町	1971	63	本制作	紙本彩色	ドイツ ヴィムプヘン	
44	夕紅	1996	88	本制作	麻布彩色	デンマーク	
45	木枯らし舞う	1997	89	本制作	麻布彩色	ドイツ北部	
9　最後の作品							
46	夕星	1999	90	本制作	麻布彩色	長野県長野市　善光寺大本願花岡平霊園	

※特に記載のない作品は東山魁夷館所蔵

信州の美術いま・むかし

菱田春草から高木こずえまで



■会場　①東御市　(会場)東御市梅野記念絵画館
(会期)平成29年10月4日(水)～10月9日(月・祝)
②飯田市　(会場)遠山郷土館　和田城
(会期)平成29年11月12日(日)～11月18日(土)
②松川村　(会場)松川村多目的交流センター
すずの音ホール
(会期)平成30年1月20日(土)～1月28日(日)

■主催等　①東御市　(主催)長野県、長野県信濃美術館、東御市梅野記念絵画館
②飯田市　(主催)長野県、長野県信濃美術館、飯田市、飯田市教育委員会、(一財)南信濃振興公社
(共催)南信濃地区実行委員会
③松川村　(主催)長野県、長野県信濃美術館、松川村松川村教育委員会

■観覧料　大人200円、大学生100円、高校生以下無料、その他割引制度

■イベント　①東御市
ギャラリートーク　10月4日(水)13:30～
参加人数：8人
②飯田市
ギャラリートーク　11月12日(日)13:30～
参加人数：3人
③松川村
オープニングセレモニー・内覧会
1月20日(土)8:50～9:30　参加人数：12人
ギャラリートーク　1月20日(土)13:30～14:00
参加人数：22人
ワークショップ　布引牛をつくろう
1月21日(日)13:30～14:30　参加人数：15人
紙芝居「布引牛」　1月21日(日)10:00～
参加人数：16人
15:00～　参加人数：16人
松川村フレッシュ学級
1月25日(木)9:00～　参加人数：30人

長野県信濃美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、各地市町村で開催する移動展覧会。

今年度は「信州の美術いま・むかし」と題し、近代から現代まで、美術史上で活躍した長野県出身の作家たちを中心に見ていく展示とした。

東御市梅野記念絵画館
平成29年10月4日～10月9日

遠山郷土館　和田城
平成29年11月12日～11月18日

松川村多目的交流センター　すずの音ホール
平成30年1月20日～1月28日

■入館者数　①東御市梅野記念絵画館
228人(有料：136人　無料：92人)
②遠山郷土館・和田城
353人(有料：208人　無料：145人)
②松川村多目的交流センター　すずの音ホール
437人(有料：246人　無料：191人)
計　1,018人(有料：590人　無料：428人)

■担当学芸員　松浦千栄子

No.	分類	作者名	作品名	制作年	技法材質	法量(cm)	東御市	飯田市	松川村
近代絵画のはじまり									
1	水彩画	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩、紙	60.4×58.2	○	○	○
2	日本画	菱田春草	海辺の松林	1908	絹本彩色	105.5×41.3	○	○	○
3	日本画	菊池契月	早苗	1934	紙本彩色	172.0×77.0	○	○	○
信州生まれの個性的な画家たち									
4	素描	河野通勢	自画像	1918	コンテ、紙	31.1×23.4	○	○	○
5	油彩画	伝河野通勢	田中志郎像	1913	油彩、キャンバスボード	32.6×23.6	○	○	
6	素描	河野通勢	裾花川風景	1915	インク、紙	29.1×38.3	○	○	○
7	油彩画	神津港人	夏(いんこ鳥)	1929	油彩・カンヴァス	77.8×81.0	○	○	○
8	油彩画	林倭衛	ネラバレエの農家	1921-1926	油彩、カンヴァス	38.0×45.5	○		
9	油彩画	小山敬三	浅間山・風	1967	油彩、カンヴァス	53.7×64.8	○	○	○
10	油彩画	須山計一	伊那谷初夏	1943	油彩、カンヴァス	72.7×90.9	○	○	
11	油彩画	須山計一	遠山の湯立祭	1967	油彩、カンヴァス	73.0×91.5	○	○	
12	水彩画	小山周次	御牧ヶ原農地	不詳	水彩、紙	37.7×56.6	○		
13	水彩画	小山周次	セエヌ河の浴場船	1924	水彩、紙	27.8×39.1	○		
14	彫刻	菊池一雄	裸立像	1939	ブロンズ	93.2×29.8×22.0	○	○	○
15	素描	菊池一雄	裸婦デッサン	1974	鉛筆、紙	51.8×41.8	○		○
16	素描	菊池一雄	裸婦デッサン	不詳	鉛筆、紙	54.6×39.4	○	○	○
信州を描いた画家たち									
17	油彩画	辻村八五郎	天龍晩夏	1976	油彩、カンヴァス	91.0×116.7	○	○	
18	素描	伊東深水	懐古園の枝垂桜	1946	紙本彩色	55.0×75.0	○		○
19	日本画	伊東深水	信州浅間六里原風景	1959-61	紙本彩色	78.6×93.6	○		○
20	油彩画	吉田博	乗鞍岳	1920	油彩、カンヴァス	45.2×60.4	○		○
21	油彩画	吉田博	槍ヶ岳　杓子岳	1920	油彩、カンヴァス	45.5×60.6	○		○
22	油彩画	中村不折	荒駅晩秋	1929	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	○	○	
23	油彩画	田村一男	御岳朝光	1979	油彩、カンヴァス	72.7×116.7	○	○	
24	水彩画	小堀進	山	1961	水彩、紙	65.0×104.0	○		○
現代の作家									
25	版画	オノサト・トシノブ	63-B	1963	リトグラフ、紙	24.0×34.0	○	○	
26	版画	オノサト・トシノブ	シルク -48	1971	シルクスクリーン、紙	50.0×49.8	○	○	
27	版画	靉嘔	Trees	1976	シルクスクリーン、紙	50.0×50.0	○		○
28	版画	靉嘔	Kisses	1976	シルクスクリーン、紙	50.0×50.0	○	○	○
29	版画	靉嘔	Noppo	1976	シルクスクリーン、紙	50.0×69.9	○	○	○
30	その他	飯田昭二	自己投影1	2007	ミクストメディア(鳥カゴ、石膏による球、鏡)	30×30× H30	○	○	○
31	その他	飯田昭二	自己投影2	2007	ミクストメディア(鳥カゴ、ハイヒール、鏡)	37×37× H37	○	○	○
32	写真	高木こずえ	hoshi01	2011	タイプＣプリント	83.5×83.5	○	○	○
33	写真	高木こずえ	ho1	2011	タイプＣプリント	60.0×60.0	○	○	○
34	写真	高木こずえ	ko06	2011	タイプＣプリント	32.3×43.0	○	○	○
35	写真	高木こずえ	kawagoshi01	2011	タイプＣプリント	20.4×30.0	○	○	○
36	写真	高木こずえ	tsuki	2011	タイプＣプリント	30.0×30.0	○	○	○
37	写真	高木こずえ	ki	2011	タイプＣプリント	66.0×66.0	○	○	○
38	写真	高木こずえ	sajiki	2011	タイプＣプリント	21.0×93.0	○	○	○
39	その他	馬場哲晃	Freqtric Drums	2004-	ミクストメディア	直径25	○	○	○
40	版画	田嶋健	布引牛かみしばい　表紙	2016	版画・和紙	65×98	○	○	○
41	版画	田嶋健	布引牛かみしばい まてー、まてまてー	2016	版画・和紙	65×98	○	○	○
42	版画	田嶋健	布引牛かみしばい 目をさますが良い	2016	版画・和紙	65×98	○	○	
長野県信濃美術館建築									
43	模型	信州大学工学部 寺内研究室作成	信濃美術館模型100分の1	2017		W90× D90×H20.7	○	○	○

東山魁夷　ひとすじの道

東山魁夷館は平成2年、東山魁夷82歳の時に長野県に開館した。信州の地を「作品を育ててくれた故郷」と呼んだ東山が、生涯をかけて描いた世界各地の風景を、唐招提寺障壁画準備作や連作のシリーズなどからご覧いただいた。

■会場　長野県伊那文化会館　美術展示ホール
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館、長野県伊那文化会館
(共催)伊那市、伊那市教育委員会
■観覧料　大人500(400)円、大学生300(200)円、高校生以下無料、その他割引制度
※(　)は20名以上の団体料金、その他割引制度
■イベント　・ギャラリートーク　10月21日(土)13:30～
参加人数：30人
・ミニ講座　11月4日(土)14:00～　参加人数：44人
■入館者数　1,780人(有：1,492人　無料：288人)
■担当学芸員　松浦千栄子

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	備考
1	ひとすじの道	1982	74	書	紙本墨書		
2	山雲	原画：1975	67	複製画			原画：唐招提寺御影堂
3	濤声	原画：1975	67	複製画			原画：唐招提寺御影堂
4	緑響く	原画：1982	74	複製画			
5	残照	原画：1947	39	複製画			原画：東京国立近代美術館
6	瀧の音	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色		
7	山雲	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色		
8	青濤	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色		
9	潮満つ	1973	65	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色		
10	揚州所見	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	中国　揚州	
11	桂林の月	1976	68	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	中国　灘江	
12	柳樹 A	1976-77	68-69	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	中国　揚州	

No.	作品名	制作年	制作年齢	分類	材質	取材地	備考
13	黄山雨収	1978	70	第二期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作	紙本彩色	中国　黄山	
14	山かげの湖	1962	54	北欧風景　スケッチ	紙本彩色	ノルウェー	
15	フレデリク城を望む	1962	54	北欧風景　スケッチ	紙本彩色	デンマーク　ヒレレズ	
16	運河沿いの街	1962	54	北欧風景　スケッチ	紙本彩色	デンマーク	
17	湖上の城	1962	54	北欧風景　スケッチ	紙本彩色	デンマーク	
18	石の窓	1971	63	本制作	紙本彩色	ドイツ　ネルトリンゲン	
19	祇園まつり	1964-66	56-58	連作“京洛四季”スケッチ	紙本彩色	京都市　山鉾巡行	
20	初紅葉	1964-66	56-58	連作“京洛四季”スケッチ	紙本彩色	京都府　大徳寺高桐院	
21	雪降る町	1964-66	56-58	連作“京洛四季”スケッチ	紙本彩色	京都府　京の町	
22	春静	1964-66	56-58	連作“京洛四季”スケッチ	紙本彩色	京都府　鷹ヶ峰	
23	ニュールンベルクの窓	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	ドイツ ニュールンベルク	
24	静かな町	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	ドイツ　ヴィムプヘン	
25	赤い屋根	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	ドイツ　ローテンブルク	
26	雪の城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	オーストリア ザルツブルク	
27	ホーエンザルツブルグ城	1969	61	連作「古都を描く」習作	紙本彩色	オーストリア ザルツブルク	
28	町角	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	ドイツ　ヴィムプヘン	
29	家並	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	ドイツ	
30	鐘楼の窓	1969	61	ドイツ・オーストリアの旅スケッチ	紙本彩色	オーストリア	
31	秋翳スケッチ A	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本彩色	群馬県　新治村 法師温泉	
32	秋翳スケッチ B	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本彩色	群馬県　新治村 法師温泉	
33	秋翳小下図 A	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本彩色	群馬県　新治村 法師温泉	
34	秋翳大下図	1957	49	第1回新日展のための準備作	紙本彩色	群馬県　新治村 法師温泉	
35	秋翳	原画：1957	49	複製画		群馬県　新治村 法師温泉	原画：東京国立近代美術館
36	年暮る	原画：1968	60	複製画		京都府　京の町	原画：山種美術館
37	静映	原画：1982	74	複製画		長野県　斑尾高原 希望湖	
38	花明り（習作）	原画：1964-66	56-58	複製画		京都市　円山公園	
39	森装う	原画：1972	64	複製画		長野県　長野市	
40	道	原画：1950	42	複製画		青森県　種差海岸	原画：東京国立近代美術館
41	晩鐘	原画：1971	63	複製画		ドイツ　フライブルク	原画：北澤美術館
42	満ち来る潮	原画：1970	62	複製画			原画：山種美術館
43	夕星	原画：1999	90	複製画			
44	草花手習帖　上	1938	30	画帖	紙本彩色		
45	旅だより	1940-47	32-39	画帖	紙本彩色		
46	コドモノクニ 第9巻3号	1930年3月	22	雑誌			参考
47	コドモノクニ 第9巻12号	1930年12月	22	雑誌			参考
48	秋風行画巻	原画：1952	44		紙本彩色		原画：東京国立近代美術館
49	『片腕』函装画	1965	57		紙本彩色		
50	川端康成著『片腕』	1965刊		書籍			参考

※特に記載のない複製画の原画所蔵先は長野県信濃美術館 東山魁夷館です。

アンデパンダン展 in 長野県信濃美術館

取り壊し直前の1か月間、美術館の最後の思い出を作っていただく機会を提供する特別イベントの第1弾として企画した。県内在住の方々の作品を公募し、信濃美術館の展示室に展示することで、取り壊し前の美術館の思い出を分かち合う機会とした。応募資格は長野県内在住であることとし、プロやアマといった経験を問わずに募集し、計74名の作品を展示した。

また、同日程で「長野県信濃美術館　小・中学生写生展」を開催し、長野市立城山小学校5年生、長野市立吉田小学校校4年生、信州大学教育学部長野附属中学校1年生と美術部が描いた信濃美術館の建物の絵を展示した。

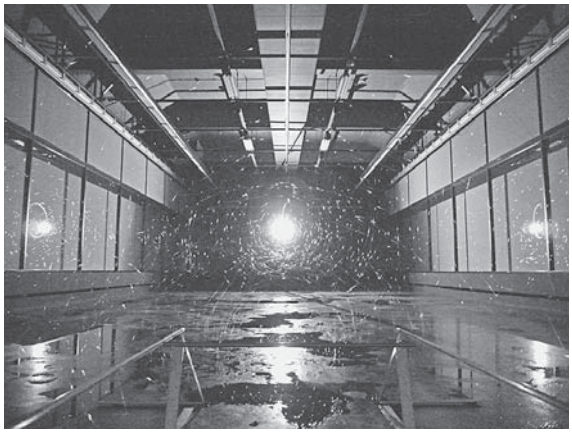
■会期　　平成30年2月27日(火)～3月4日(日)　　(5日間)
■会場　　長野県信濃美術館(第1展示室)
■主催等　　(主催)長野県、長野県信濃美術館
■観覧料　　無料
■入館者数　956人
■出品作品数　74点
■担当学芸員　松井正、福士恵子
■同時開催
　長野県信濃美術館　小・中学生写生展
　テーマ：さようなら　長野県信濃美術館　建物を絵にのこそう
■会場　　長野県信濃美術館(第2展示室)

解体直前　アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館

取り壊し直前の1か月間、美術館の最後の思い出を作っていただく機会を提供する特別イベントの第2弾として開催した。
美術館で滞在制作を行う若手作家を平成29年春に公募し2組を決定。第一展示室には千田泰広、第二展示室には3人組制作グループ three が滞在し、公開制作や作品発表を行った。また、子どもから一般まで楽しめる、作家によるワークショップを開催した。

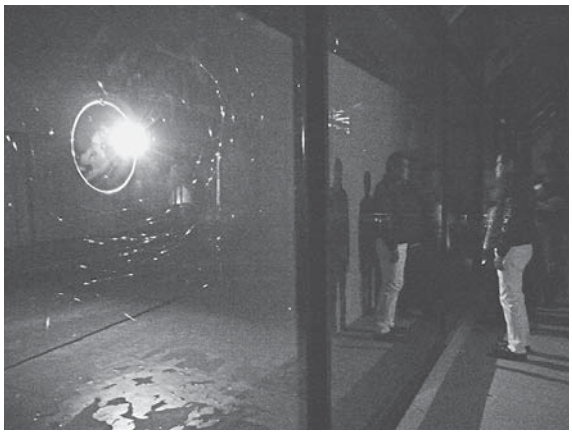
■会期　公開制作：平成30年3月5日（月）～3月23日（金）（16日間）
発表：3月24日（土）～3月31日（土）（7日間）
■会場　長野県信濃美術館（第1展示室・第2展示室）
■主催等　（主催）長野県、長野県信濃美術館
■観覧料　無料
■入館者数　2,663人
■担当学芸員　大野織江、木内真由美
■イベント　①千田泰広ワークショップ「作品レクチャー＋制作体験」／日時：3月11日（日）(1)10時～11時／場所：第一展示室／参加人数：9名　(2)14時～15時／場所：第一展示室／参加人数：11名／3月17日（土）(1)10時～11時／場所：第一展示室／参加人数：8名　(2)14時～15時／場所：第一展示室／参加人数：10名
②three ワークショップ「醤油差し型ボトルメール制作体験＋ミニ作品づくり」／日時：3月10日（土）14時～15時／場所：第二展示室／参加人数：19名／3月18日（日）14時～15時／場所：第二展示室／参加人数：18名
③three 館外ワークショップ／日時：2月28日（水）14時～14時40分／場所：長野市立城山小学校／参加人数：456名／3月9日（金）11時～11時45分／場所：長野市立吉田小学校／参加人数：161名

第1展示室
千田泰広《Myrkviðr》
ナイロン糸、LED、水、モーター、アルミニウム



公開制作の様子

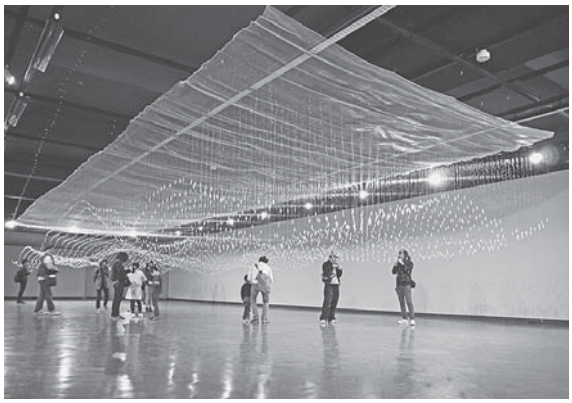
ワークショップの様子



展示風景

第2展示室
three《Tokyo Bottles》
醤油差し、色紙、釣り糸、網　W6m × D20m × H2m

公開制作の様子



ワークショップの様子

展示風景

教育普及事業

1　おもしろ美術講座（出張講座）　　参加者：221人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/28	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「東山魁夷館改修前特別展　東山魁夷　永遠の風景」 担当：松浦千栄子	一般	35
2	5/26	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「花ひらくフランス風景画」展 担当：大野織江	一般	35
3	7/28	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「ウィンザーチェア」展 担当：瀬尾典昭	一般	30
4	8/6	キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館） 夏休み！こどもフェスティバル 「夏を楽しむうちわをつくろう！」 担当：福士恵子、上沢修	こども	40
5	8/26	長野市文化芸術課 （第7回長野市野外彫刻めぐり） 担当：大野織江	一般	21
6	9/22	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「クロージング展（現代作家）」 担当：松浦千栄子	一般	35
7	11/24	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「クロージング展（コレクション「私の、この一点」）」 担当：木内真由美	一般	15
8	1/26	長野市もんぜんプラザ ぶらり信濃美術館講座 「信濃美術館の建物とその歴史」 担当：上沢修	一般	10

キッセイ文化ホール
「夏を楽しむうちわを作ろう！」

2　おでかけ美術館講座　　参加者：473人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/8	長野市吉田小学校 「東山魁夷と日本画について」スライドレクチャー 担当：松浦千栄子、福士恵子、竹澤未央	小学生	155
2	5/19	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：オリジナルランチボックスをつくろう 担当：大野織江、竹澤未央	小中	11
3	6/1	県立こども病院院内学級 テーマ：オリジナルランチボックスをつくろう 担当：大野織江、福士恵子、竹澤未央	小中	9
4	6/12～14	県立阿南高等学校1年美術 テーマ「美術の多様性」について講義と観賞 担当：上沢修、松浦千栄子、大野織江、木内真由美	高校生	90
5	7/5	長野市信州新町小学校1年生、2年生 テーマ：ランチボックスをつくろう 担当：大野織江、福士恵子	小学生 保護者	43
6	7/6	坂城町坂城小学校6年生2クラス 「東山魁夷と日本画について」スライドレクチャー ランチボックスをつくろう 担当：松浦千栄子、木内真由美	小学生	49
7	9/4	長野県若槻養護学校 図工「粘土に色を混ぜてぐにゃぐにゃ、くるくるを楽しもう！」 担当：上沢修	小中	4
8	9/5	県立こども病院院内学級 テーマ：フロッタージュで作品づくり 担当：大野織江	小中	6
9	9/12	長野市加茂小学校 カモチャールーム「世界にひとつだけのパフェをつくろう」 担当：木内真由美、福士恵子	小学生	49
10	10/13	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：フロッタージュで作品づくり 担当：大野織江	小中	10
11	11/27	県立こども病院院内学級 テーマ：クリスマスモビールをつくろう 担当：大野織江	小中	14
12	12/15	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：クリスマスモビールをつくろう 担当：松浦千栄子、竹澤未央	小中	12
7	2/16	信州大学医学部附属病院院内学級 テーマ：人間国宝・松井康成の技法に挑戦 閉館イベント制作体験 担当：大野織江、松井正	小中	9
8	2/20	県立こども病院院内学級 テーマ：人間国宝・松井康成の技法に挑戦 担当：大野織江、福士恵子	小中	12

院内学級

院内学級「クリスマスモビールをつくろう」成果物

学校　レクチャーの様子

3　やねうら美術館講座・展覧会関連 WS

参加者：892人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	7/9	やねうら美術館講座 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 ナノグラフィカ 講師：下平千夏氏(美術家)	こども・大人	15
2	7/16	ウィンザーチェア　日本人が愛した英国の椅子 「木のワークショップ①　イタヤカエデでスツールを作る」 講師：大橋博文氏(木工作家・木工房グルッペ)	一般	6
3	7/22	ウィンザーチェア　日本人が愛した英国の椅子 「木のワークショップ②　木のスプーンを作る」 講師：コバヤシユウジ氏(木工作家・木の生活道具)	こども・大人	12
4	7/29	やねうら美術館講座 「人も入れる !?　信濃美術館の建築模型を作ろう」 講師：信州大学工学部　寺内研究室	こども	16
5	7/30	ウィンザーチェア　日本人が愛した英国の椅子 「こどもワークショップ　怪獣をつくろうか、ゲームにしようか?」 講師：谷進一郎氏(木工作家)	こども	17
6	8/18	やねうら美術館講座 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 権堂イーストプラザ 講師：下平千夏氏(現代美術家)	こども・大人	12
7	8/19	やねうら美術館講座 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 権堂イーストプラザ 講師：下平千夏氏(現代美術家)	こども・大人	13
8	8/26	やねうら美術館講座 「信濃美術館をフロッタージュで記録しよう」 講師：松浦千栄子	こども・大人	31
9	9/17	クロージング　ネオヴィジョン　新たな広がり 「ピンホールカメラを作ろう」 講師：篠田優氏(写真家)	一般	11
10	9/23	クロージング　ネオヴィジョン　新たな広がり 「絵画制作空間パフォーマンスプロジェクト“EN ROUTE”」 出演：上田暁子氏(絵画)、山崖直人氏(パーカッション)、新井陽子氏(ピアノ)、ヤコブ・ニグラー氏(サックス)	一般	67
11	2/28	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 three ワークショップ 長野市立城山小学校(城山っ子を育てる会)	小学生	456
12	3/9	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 three ワークショップ 長野市立吉田小学校 講師：three	小学生	161
13	3/10	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 three「醤油差し型ボトルメール制作体験＋ミニ作品づくり」 講師：three	一般	19
14	3/11	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 千田泰広「作品レクチャー＋制作体験」 講師：千田泰広氏	一般	20
15	3/17	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 千田泰広「作品レクチャー＋制作体験」 講師：千田泰広氏	一般	18
16	3/18	アーティスト・イン・レジデンス in 長野県信濃美術館 three「醤油差し型ボトルメール制作体験＋ミニ作品づくり」 講師：three	一般	18

ウィンザーチェア展ワークショップ
「スツールを作る」の様子

ウィンザーチェア展ワークショップ
「木のスプーンを作る」の様子

クロージング展ワークショップ
「ピンホールカメラを作ろう」の様子

7/29「信濃美術館の建築模型を作ろう」の様子

8/26「信濃美術館をフロッタージュで記録しよう」の様子

4　展覧会関連　　参加者：1,739人

No.	事業名／実施回数	参加者数
1	企画展ギャラリートーク※・ベビーカーツアー／37回	727
2	企画展特別講座（講演会※、ブロガー内覧会等）／18回	676
3	一般団体への解説／14回	336

※手話通訳付き

フランス風景画展　ギャラリートークの様子

東山魁夷館　ギャラリートークの様子

フランス風景画展　講演会の様子

ウィンザーチェア展　講演会の様子

クロージング展　講演会の様子

東山魁夷館　ブログ・SNS ユーザー内覧会の様子

東山魁夷特別展　ベビーカーツアーの様子

5　学校および社会教育施設との連携事業　　参加者：1,200人

No.		事業名／実施回数	対象	参加者数
1. 学校の鑑賞活動受入 （県内外小・中・高・特別支援・大学等）　20件				1,074
2. 学校および社会教育施設との連携活動				126
①	7/27	南箕輪南部小学校　教員研修会 美術作品の鑑賞ポイント アートカード実践 担当：松浦千栄子 会場：南箕輪南部小学校	教員	16
②	7/28	西部支会二学年会　研修会 信濃美術館の教育普及活動について 造形体験「日本画の絵の具を使ってみよう」 担当：松浦千栄子、福士恵子	教員	20
③	8/22	日本保育協会長野県支部青年部 保育士研修会 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード実践 造形体験「松井康成の練上手に挑戦」 ウィンザーチェア展鑑賞 担当：松浦千栄子、上沢修	保育士	30
④	10/13	更埴教育課程研究協議会（図工・美術） 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード実践 造形体験「ランチボックスをつくろう」 担当：松浦千栄子 会場：千曲市治田小学校	教員	50
⑤	2018 2/12	信州大学教育学部　生涯学習概論II 長野県信濃美術館の事業と地域連携について 触れる美術展2017「手や耳で楽しむおしゃべり鑑賞会」参加 担当：松浦千栄子 会場：TOiGO WEST　1F　アート・プラットフォーム・アンテナショップ内	大学生	10

学校見学の様子①

学校見学の様子②

教員研修会の様子①

教員研修会の様子②

6　造形教育作品等の貸出

No.	事業名／貸出先	貸出数：18件
1	木の造形作品の貸出	
	長野青年会議所	1
2	長野版アートゲームの貸出	
	①　佐久市立野沢中学校	1
	②　長野県松本深志高等学校	1
	③　飯山市立秋津小学校	1
	④　長野県屋代南高等学校	1
	⑤　長野市立三陽中学校	1
	⑥　坂城町立南条小学校	1
	⑦　飯島町立飯島中学校	1
	⑧　長野市立裾花中学校	1
	⑨　中野市立延徳小学校	1
	⑩　丸山晩霞記念館	5
	⑪　松川村すずの音ホール	1
	⑫　長野県東御清翔高等学校	1
	⑬　阿智村立阿智中学校	1

7　カフェコンサート　　参加者：64人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/20	平成29年度長野県信濃美術館　東山魁夷館ギャラリーコンサート Ogozze―川﨑妃奈子 & 松田紫帆コンサート― 演奏者：川﨑妃奈子氏（ヴァイオリン）、松田紫帆氏（ピアノ）	一般	29
2	7/16	青の素描　東山魁夷のテクスチュアによる無形の音楽 演奏者：平松良太氏（ピアノ）	一般	35

Ogozze―川﨑妃奈子 & 松田紫帆コンサート―

平松良太コンサート「青の素描」

8　善光寺門前研究プロジェクト

本プロジェクトは、当館が構成する門前おもてなし実行委員会が「平成29年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」を受け、当館が位置する長野市中心部の善光寺および善光寺周辺地域との連携を図り、同エリアの賑わいを創出することを目的に展開した。

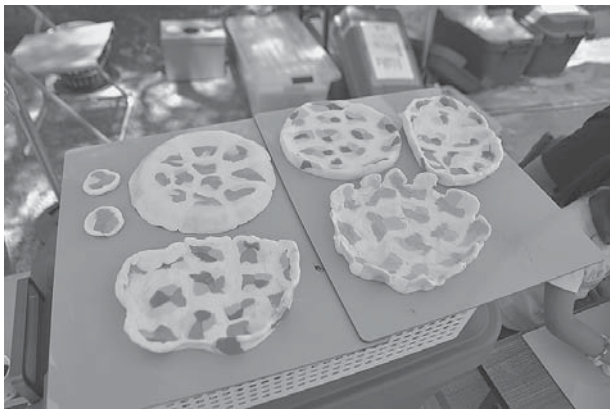
参加者：1,615人　（ただし、◎の参加者数については他事業と重複のため計上していない。）

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	4/22	アートあそびのじかん 第1回「布引牛をつくろう」 講師：松井正、木内真由美、福士恵子、竹澤未央、柄澤志保 紙芝居読み手：成田俊郎氏（となりや商店） 会場：権堂イーストプラザ　多目的ホール	こども	7
2	5/12	アートあそびのじかん 第2回「オリジナルランチボックスをつくろう」事前研修 講師：大野織江、竹澤未央	施設職員	2
3	5/20	平成29年度長野県信濃美術館　東山魁夷館ギャラリーコンサート　◎ Ogozze―川﨑妃奈子 & 松田紫帆コンサート― 演奏者：川﨑妃奈子氏（ヴァイオリン）、松田紫帆氏（ピアノ）	一般	29
4	5/27	朝ヨガ in 東山魁夷館 講師：内田真由美氏（ヨガインストラクター）	一般	14
5	6/10	善光寺びんずる市 「布引牛をつくろう」 講師：松井正、木内真由美、福士恵子、柄澤志保 紙芝居読み手：成田俊郎氏（となりや商店） 会場：善光寺東庭園あずまや前	こども・大人	102
6	6/17	建物でふりかえる長野県信濃美術館 「門前近代建築ツアー」 講師：梅干野成央氏（信州大学建築学科　准教授） 会場：善光寺門前周辺、および長野県信濃美術館	一般	16
7	6/23	アートあそびのじかん 第3回「信州の人間国宝・松井康成が極めた練上手を体験！」事前研修 講師：松井正	施設職員	2
8	7/6	箕輪町立箕輪中学校美術部 下平千夏　作品制作補助ワークショップ 講師：下平千夏氏（現代美術家）	中学	40
9	7/8	善光寺びんずる市 「信州の人間国宝・松井康成が極めた練上手を体験！」 講師：松井正、木内真由美、竹澤未央、柄澤志保 会場：善光寺東庭園あずまや前	こども・大人	40
10	7/8～17	建築でふりかえる長野県信濃美術館 「模型で思い出す信濃美術館」 会場：権堂パブリックスペース OPEN 内 飛雷針	一般	88
11	7/9	やねうら美術館講座　◎ 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 会場：ナノグラフィカ 講師：下平千夏氏（美術家）	こども・大人	15
12	7/15	善光寺表参道ギャラリーウィーク：ギャラリー夏祭り ワークショップ「布引き牛をつくろう」 「布引き牛」紙芝居上演 講師：田嶋健氏（版画家） 紙芝居読み手：成田俊郎氏（となりや商店） 会場：ぱてぃお大門	こども	9
13	7/15	折笠良・有吉達宏　Screening & Talk 会場：ギャラリー花蔵	一般	24
14	7/16	青の素描　東山魁夷のテクスチュアによる無形の音楽　◎ 演奏者：平松良太氏（ピアノ）	一般	35
15	7/17	トークイベント思い出を語ろう！　※ 「わたしと信濃美術館」 会場：権堂パブリックスペース OPEN 内 飛雷針、および中庭	一般	20
16	8/9～10	アーカイブ映像制作ワークショップ① 講師：岡田翔氏（桜美林大学助手、中部大学非常勤講師） 会場：長野県信濃美術館講堂、城山公園	大学生	6
17	8/12～20	建築でふりかえる長野県信濃美術館 「模型で思い出す信濃美術館」 会場：TOiGO WEST	一般	199
18	8/12	トークイベント思い出を語ろう！ 「わたしと信濃美術館」 会場：TOiGO WEST　1F	一般	16
19	8/16～17	アーカイブ映像制作ワークショップ② 講師：篠田優氏（写真家） 会場：長野県信濃美術館講堂、城山公園	大学生	5
20	8/18	やねうら美術館講座　◎ 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 会場：権堂イーストプラザ 講師：下平千夏氏（現代美術家）	こども・大人	12
21	8/19	やねうら美術館講座　◎ 「下平千夏　インスタレーション作品制作補助ワークショップ」 会場：権堂イーストプラザ 講師：下平千夏氏（現代美術家）	こども・大人	13
22	8/23～24	アーカイブ映像制作ワークショップ③ 講師：大野隆介氏（映像作家） 会場：長野県信濃美術館講堂、城山公園	大学生	6
23	9/16～30	インスタレーション展示 下平千夏≪かがる（Darning the place）≫	一般	―
24	9/30	コラボレーションイベント（プロジェクション） 下平千夏× Sybille Neumeyer	一般	―
25	10/28	アートあそびのじかん 第4回「粘土で季節の和菓子を作る」 講師：木内真由美、福士恵子、竹澤未央 会場：権堂イーストプラザ　多目的ホール	こども	7
26	11/18	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第1回「東山魁夷先生との思い出」 講師：弓削順一氏（元集英社出版部美術書編集長）、寺島照夫氏（写真家・元集英社） 会場：竹風堂大門ホール	一般	41
27	11/28	触れる彫刻鑑賞授業 講師：林耕史氏（群馬大学教授）、松尾大輔氏（上越教育大学教授）、猪瀬昌延氏（信州大学准教授）、武末裕子氏（山梨大学准教授） 会場：長野盲学校	小学	33
28	12/6～13	まちなかアート　お見合い展 会場：TOiGO WEST　1F	一般	231
29	12/16	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第2回「北信濃を訪れた画家たち　犀北館と野尻湖ホテルを中心に」 講師：瀬尾典昭 会場：竹風堂大門ホール	一般	50
30	12/23	アートあそびのじかん 第5回「上田獅子お張り子絵付け」」 講師：武捨和貴氏（特定非営利活動法人リベルテ代表） 会場：権堂イーストプラザ　多目的ホール	こども	26
31	1/27	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第3回「草間彌生の半生と芸術」 講師：渋田見彰氏（松本市美術館　学芸員） 会場：竹風堂大門ホール	一般	45
32	2/7～12	「善光寺門前まちなかアート展」 会場：善光寺門前界隈8店舗	一般	―
33	2/7～12	アート・プラットフォーム・アンテナスペース設置 会場：TOiGO WEST　1F	一般	―
34	2/7～12	「触れる美術展2017」 会場：TOiGO WEST　1F　アートプラットフォーム・アンテナショップ内	一般	326
35	2/7～12	長野県信濃美術館マージナルアーカイブ 「Voice（s）」 会場：からこる坐	一般	77
36	2/9	善光寺門前まちなかアート展関連イベント フォーラム「広げよう！まちなかアートの輪」 会場：TOiGO WEST 1F　アートプラットフォーム・アンテナショップ内	一般	6
37	2/10	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第4回「刀剣の鑑賞と信州の刀工」 講師：河内一平氏（刀匠）、上沢修 会場：竹風堂大門ホール	一般	32
38	2/11	ワークショップ「布引き牛をつくろう」 講師：木内真由美、福士恵子 会場：TOiGO WEST　1F　アートプラットフォーム・アンテナショップ内	一般	5
39	2/12	触れる美術展「手と耳で楽しむおしゃべり鑑賞会」　※ 講師：乾ちひろ氏（東京藝術大学大学院生） 会場：TOiGO WEST　1F　アートプラットフォーム・アンテナショップ内	一般	18
40	2/12	信濃美術館アーカイブ映像制作 ワークショップ成果発表「Marginalia」上映会 会場：SHINKOJI ホール	一般	24

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
41	2/17	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第5回「信州発　美術運動の興隆　山本鼎と小杉放菴」 講師：田中正史 会場：竹風堂大門ホール	一般	29
42	2/24	アートあそびのじかん 第6回「カオカオフレンズをつくろう！」 講師：さらしなまりこ氏(版画家) 会場：権堂イーストプラザ　多目的ホール	こども	28

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
43	3/4	善光寺もんぜん社会人講座　※ もんぜん美術倶楽部 第6回「中島千波　日本画家として」 講師：中島千波氏(日本画家) 会場：竹風堂大門ホール	一般	41
44	2/27～3/4	信濃美術館アーカイブ映像制作 ワークショップ成果発表「Marginalia」上映会 会場：長野県信濃美術館　第二展示室	一般	—

※手話通訳付き



7/8 「練上手を体験！」成果物

「触れる美術展鑑賞会」の様子

「もんぜん美術倶楽部」の様子

「善光寺門前まちなかアート展」の様子

9　MIDORI 展示

No.	開催日	事業内容、場所	対象	参加者
1	4/6〜9/26	ステーションビル MIDORI 長野 平成29年上半期展示	一般	カウントせず

展示作品

作家名	作品名	制作年	技法・材料
松井康成	練上銅羅鉢「輪響」	1975年	陶器
松井康成	練上嘯裂文壺「黙思」	1980年	陶器
松井康成	練上玻璃光壺	2002年	陶器
池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989年	ブロンズ

No.	開催日	事業内容、場所	対象	参加者
2	9/26〜4/11	ステーションビル MIDORI 長野 平成29年下半期展示	一般	カウントせず

展示作品

作家名	作品名	制作年	技法・材料
松井康成	練上嘯裂文壺「修道院」	1980年	陶器
松井康成	練上晩菊文大壺	1991年	陶器
松井康成	練上玻璃光大壺	2001年	陶器
池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989年	ブロンズ

MIDORI の展示風景

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期	
平塚市美術館 足利市立美術館 碧南市藤井達吉現代美術館 姫路市立美術館		「リアル(写実)のゆくえ」展	平成29年(2017年)4月15日～6月11日 平成29年(2017年)6月17日～7月30日 平成29年(2017年)8月8日～9月18日 平成29年(2017年)9月23日～11月5日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	河野通勢	裾花川の河柳	1915	油彩、カンヴァス
2	河野通勢	三人の乞食	1916	油彩、カンヴァス
MIDORI 長野			平成29年(2017年)4月5日～9月26日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
3	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
4	松井康成	練上銅羅鉢「輪響」	1975	陶器
5	松井康成	練上嘯裂文壺「黙思」	1980	陶器
6	松井康成	練上玻璃光壺	2002	陶器
福井県立美術館 山梨県立美術館		「狩野芳崖と四天王」展	平成29(2017年)年9月15日～10月22日 平成29(2017年)年11月3日～12月17日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
7	西郷孤月	瀑布(左)	不詳	絹本彩色
8	西郷孤月	瀑布(右)	不詳	絹本彩色
9	西郷孤月	深山の夕	1900	絹本墨画
水野美術館		開館15周年記念「横山大観×菱田春草－横山大観《無我》、菱田春草《蓬莱山図》特別展示－同時開催　県内ゆかりの作家たち」	平成29年(2017年)9月30日～12月3日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
10	菱田春草	乳糜供養・(釈迦と魔女)	1903頃	絹本彩色
11	横山大観	(乳糜供養)・釈迦と魔女	1903頃	絹本彩色
12	池上秀畝	秋雨	1932	絹本彩色
13	倉島重友	遠い音	1990	紙本彩色
MIDORI 長野			平成29年(2017年)9月26日～平成30年(2018)4月13日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
14	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
15	松井康成	練上嘯裂文壺「修道院」	1980	陶器
16	松井康成	練上晩菊文大壺	1991	陶器
17	松井康成	練上玻璃光大壺	2001	陶器
香川県立東山魁夷せとうち美術館		平成29年度秋の特別展「信濃と山と東山魁夷－長野県信濃美術館コレクションから－」	平成29年(2017年)10月7日～11月26日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
18	河野通勢	りんご林	不詳	油彩、カンヴァス
19	金山平三	結氷	1931	油彩、カンヴァス
20	安井曽太郎	秋の霞沢岳	1938	油彩、カンヴァス
21	小絲源太郎	山粧ふ	1956	油彩、カンヴァス
22	小林和作	秋山(北アルプス山中)	1964	油彩、カンヴァス
23	田村一男	初秋(霧ヶ峰高原七島八島)	1967	油彩、カンヴァス
24	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973	油彩、カンヴァス
25	丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909頃	水彩、紙
26	丸山晩霞	山上の潤地	不詳	水彩、紙
27	矢崎重信	『信濃の子供』原画3　十四日祭	1943	水彩、紙
28	矢崎重信	『信濃の子供』原画6　安曇野の田植	1943	水彩、紙
29	矢崎重信	『信濃の子供』原画10　繭かき	1943	水彩、紙
30	矢崎重信	『信濃の子供』原画15　浅間山麓の山羊	1943	水彩、紙
31	矢崎重信	『信濃の子供』原画17　七夕祭り	1943	水彩、紙
32	矢崎重信	『信濃の子供』原画20　柿もぎ	1943	水彩、紙
33	矢崎重信	『信濃の子供』原画21　白馬岳の稲扱き	1942	水彩、紙
34	矢崎重信	『信濃の子供』原画23　綿つむぎ	1943	水彩、紙
35	伊東深水	露草	1947	紙本彩色
36	伊東深水	山間の紅葉	不詳	紙本彩色
37	伊東深水	雪の谷間の民家	不詳	紙本彩色

38	伊東深水	山麓の村	不詳	紙本彩色
39	吉田博	駒ヶ岳山頂より	1928	木版、紙
40	吉田博	穂高山	1926	木版、紙
41	川瀬巴水	白馬の雪渓	1932	木版、紙
42	川瀬巴水	木曽の須原	1925	木版、紙
43	伊東深水	信濃十景　野尻湖畔の秋	1948	木版、紙
44	伊東深水	信濃十景　小諸路の暮雪	1948	木版、紙
45	笠松紫浪	信州白骨温泉	1935	木版、紙
46	笠松紫浪	温泉の朝(信州野沢)	1933	木版、紙
47	伊藤孝之	白馬山頂より立山遠望	1932	木版、紙
48	伊藤孝之	明け行く岳川	1932	木版、紙
49	東山魁夷	霧氷の譜	1985	紙本彩色
50	東山魁夷	静晨	1994	紙本彩色
51	東山魁夷	夕影(バイエルン地方南ドイツ)	1933～1935	紙本彩色
52	東山魁夷	長野の家	1940～1945	紙本彩色
53	東山魁夷	街道の家	1940～1945	紙本彩色
54	東山魁夷	小諸の家	1940～1945	紙本彩色
55	東山魁夷	夏の日	1940～1945	紙本彩色
56	東山魁夷	薄暮	1940～1945	紙本彩色
57	東山魁夷	たにま　スケッチ　A	1953	紙本彩色
58	東山魁夷	たにま　スケッチ　D	1953	紙本彩色
59	東山魁夷	たにま　小下図	1953	紙本彩色
60	東山魁夷	光昏　スケッチ　A	1954	紙本彩色
61	東山魁夷	光昏　小下図	1955	紙本彩色
62	東山魁夷	緑響く	1972	紙本彩色
63	東山魁夷	深い谿	1973	紙本彩色
64	東山魁夷	緑峡	1973	紙本彩色
65	東山魁夷	雲湧く嶺	1973	紙本彩色
66	東山魁夷	夕静寂　スケッチ	1974	紙本彩色
67	東山魁夷	山霊　小下図	1987	紙本彩色

碧南市藤井達吉現代美術館　長野県信濃美術館名品展　響きあう個性―近代を彩った作家たち　平成29年(2017年)平成29年10月10日～11月26日

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
68	川上冬崖	花卉	1878	絹本彩色
69	菱田春草	老子	1893頃	紙本彩色
70	菱田春草	牧牛	1893	紙本彩色
71	西郷孤月	主の救い	1901頃	絹本彩色
72	西郷孤月	月下飛鷺	1901頃	絹本彩色
73	菱田春草	月下群鷺	1901	絹本彩色
74	菱田春草	羅浮仙	1901頃	絹本彩色
75	菱田春草／(横山大観)	春曙・(秋夜)	1907	絹本彩色
76	(菱田春草)／横山大観	(春曙)・秋夜	1907	絹本彩色
77	菱田春草	寂静	1910頃	絹本彩色
78	荒木十畝	木曽鞍馬橋図	1904	絹本彩色
79	菊池契月	媼(春寒)	1914	絹本彩色
80	菊池契月	立女	1924	絹本彩色
81	矢沢弦月	童謡	1916	絹本彩色
82	矢沢弦月	童謡(左)	1916	絹本彩色
83	木村武山	慈母観世音	1930	絹本彩色
84	伊東深水	御代田の春	1948	絹本彩色
85	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949	絹本彩色
86	中島千波	白虹	1972	紙本彩色
87	伝川上冬崖	婦女図(来信)	幕末(慶応年間頃)1857-1881	油彩、布
88	中村不折	西洋婦人像	1904頃	油彩、カンヴァス
89	河野通勢	自画像	1918	油彩、カンヴァスボード
90	河野通勢	林檎	1918	油彩、ボード
91	林倭衛	出獄の日のＯ氏	1919	油彩、カンヴァス
92	林倭衛	南フランス風景	1928	油彩、カンヴァス
93	吉田博	有明山	1920	油彩、カンヴァス

94	吉田博	有明山	1920	油彩、カンヴァス
95	臼井文平	屋上のパーテイ	1926	油彩、カンヴァス
96	臼井文平	ウッドストックの国吉家	1934	油彩、カンヴァス
97	須山計一	労働者	1930	油彩、カンヴァス
98	藤島武二	杏花	1933	油彩、カンヴァス
99	山本鼎	白菜と赤蕪	1937	油彩、カンヴァス
100	山本鼎	淡水のエゲリース	1938	油彩、カンヴァス
101	石井柏亭	画室小集	1949	油彩、カンヴァス
102	中村研一	緑の中	1959	油彩、カンヴァス
103	草間彌生	No. PZ	1960	油彩、カンヴァス
104	草間彌生	南瓜	1986	セリグラフ、紙
105	河野通勢	長野風景(長野の近郊)	1915	油彩、カンヴァス
106	満谷国四郎	野尻湖	1919	油彩、カンヴァス
107	島崎鶏二	夕暮	1939	油彩、カンヴァス
108	中村善策	秋	1940	油彩、カンヴァス
109	足立源一郎	滝谷の岩壁	1954	油彩、カンヴァス
110	梅原龍三郎	浅間山	1957	油彩、グワッシュ、紙
111	中村琢二	木曽路	1964	油彩、カンヴァス
112	小山敬三	暮れゆく浅間	1968	油彩、カンヴァス
113	荻原碌山	坑夫	1907	ブロンズ
114	荻原碌山	女	1910	ブロンズ
115	石井鶴三	風試作	1956	ブロンズ
116	菊池一雄	ギリシャの男	1937	ブロンズ
117	池田満寿夫	移動する翼	1957	エッチング　アクアチント
118	池田満寿夫	夜	1959	エッチング　アクアチント
119	池田満寿夫	女の肖像	1960	ドライポイント　アクアチント
120	池田満寿夫	人形	1961	ドライポイント　コラージュ
121	池田満寿夫	ムーン・フェイス	1961	ドライポイント　コラージュ
122	池田満寿夫	動物の婚礼	1962	ドライポイント　エッチング
123	池田満寿夫	金曜日は雨	1962	ドライポイント　ルーレット
124	池田満寿夫	サイクリングI	1963	ドライポイント　ルーレット
125	池田満寿夫	自画像	1964	ドライポイント
126	池田満寿夫	化粧する女	1964	ドライポイント　ルーレット　エッチング
127	池田満寿夫	楽園に死す	1965	ドライポイント　ルーレット　エッチング
128	池田満寿夫	ヴォーグから来た女	1966	ドライポイント　エッチング　ビュラン
129	池田満寿夫	バラはバラ	1966	ドライポイント　ルーレット　ビュラン
130	池田満寿夫	ブダペストからの自画像	1968	リトグラフ
131	池田満寿夫	ファッション	1969	ルーレット　メゾチント　ドライポイント
132	池田満寿夫	五番街A	1971	メゾチント　エッチング　ドライポイント　アクアチント
133	池田満寿夫	春雷	1973	メゾチント
134	池田満寿夫	ブロンズ・ヴィナス	1975	メゾチント
135	池田満寿夫	顔F	1978	ドライポイント
136	池田満寿夫	仮面	1980	ドライポイント　アクアチント
137	池田満寿夫	令嬢ジュリー	1983	メゾチント
138	池田満寿夫	ペーパーヴィナス	1985	エッチング　ドライポイント　アクアチント
139	池田満寿夫	地中海のオレンジ色の屋根	1985	リトグラフ
140	池田満寿夫	宗達の森	1986	リトグラフ
141	池田満寿夫	麒麟はキリン	1986	リトグラフ
142	池田満寿夫	天女乱舞A	1988	リトグラフ
143	池田満寿夫	ホワイト　ソフト　バード・C	1989	アクアチント　エッチング

144	池田満寿夫	海の見える街	1990	リトグラフ
145	池田満寿夫	動物の祭り	1991	リトグラフ
146	池田満寿夫	ダンシングハート	1995	リトグラフ
東京富士美術館		**長野県信濃美術館　東山魁夷館所蔵品による　東山魁夷展**	**平成30年(2018年)1月2日～3月4日**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
147	東山魁夷	倉庫	1963	本制作
148	東山魁夷	窓	1971	本制作
149	東山魁夷	白馬の森	1972	本制作
150	東山魁夷	夕静寂	1974	本制作
151	東山魁夷	桂林月夜	1976	本制作
152	東山魁夷	離江暮色	1978	本制作
153	東山魁夷	黄山雨過	1978	本制作
154	東山魁夷	静唱	1981	本制作
155	東山魁夷	緑響く	1982	本制作
156	東山魁夷	春兆	1982	本制作
157	東山魁夷	沼の静寂	1983	本制作
158	東山魁夷	緑の窓	1983	本制作
159	東山魁夷	山霊	1987	本制作
160	東山魁夷	秋思	1988	本制作
161	東山魁夷	冬の旅	1989	本制作
162	東山魁夷	行く秋	1990	本制作
163	東山魁夷	牡丹図	1927	本制作
164	東山魁夷	柿生の里	1928	本制作
165	東山魁夷	祭りの夜	1929	本制作
166	東山魁夷	沼	1993	本制作
167	東山魁夷	深秋	1942頃	本制作
168	東山魁夷	紅葉の谷	1952	本制作
169	東山魁夷	水辺の朝	1972	本制作
170	東山魁夷	夕紅	1996	本制作
171	東山魁夷	木枯らし舞う	1997	本制作
172	東山魁夷	夕星	1999	本制作
173	東山魁夷	草青む	1972	本制作
174	東山魁夷	自画像	1923	油彩
175	東山魁夷	静映	1982	紙本彩色
176	東山魁夷	山雲　　試作　1～4	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作
177	東山魁夷	濤声　　試作　1～3	1974	第一期唐招提寺御影堂障壁画のための準備作
178	東山魁夷	黄山暁雲　試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作
179	東山魁夷	桂林月宵　試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作
180	東山魁夷	揚州薫風　試作	1979	第二期唐招提寺障壁画のための準備作
181	東山魁夷	「瑞光」試作	1980	唐招提寺鑑真和上像厨子絵のための準備作
182	東山魁夷	悠紀地方屏風絵　試作　春夏図・秋冬図	1990	大嘗祭大饗の儀に用いられた作のための準備作
183	東山魁夷	ゲオルクの泉	1933～1935	ヨ―ロッパ風景　スケッチ
184	東山魁夷	ジュネ―ヴの街角	1933～1935	ヨ―ロッパ風景　スケッチ
185	東山魁夷	モンマルトルにて	1933～1935	ヨ―ロッパ風景　スケッチ
186	東山魁夷	サンマルコ寺院(ベニスにて)	1934	スケッチ
187	東山魁夷	夕影(バイエルン地方南ドイツ)	1933～35	スケッチ
188	東山魁夷	白夜	1962	北欧風景　スケッチ
189	東山魁夷	白樺の丘	1962	北欧風景　スケッチ
190	東山魁夷	雪原譜	1962	北欧風景　習作
191	東山魁夷	白夜光	1962	北欧風景　習作
192	東山魁夷	二つの月	1962	北欧風景　スケッチ
193	東山魁夷	花明り	1964～1966	連作“京洛四季”　習作
194	東山魁夷	月篁	1964～1966	連作“京洛四季”　習作
195	東山魁夷	照紅葉	1964～1966	連作“京洛四季”　習作
196	東山魁夷	北山初雪	1964～1966	連作“京洛四季”　習作

197	東山魁夷	年暮る	1964～1966	連作“京洛四季”　習作
198	東山魁夷	揺れる窓	1969	ドイツ・オーストリアの旅　スケッチ
199	東山魁夷	デュ―ラ―の家より	1969	ドイツ・オーストリアの旅　スケッチ
200	東山魁夷	祭りの日	1969	ドイツ・オーストリアの旅　スケッチ
201	東山魁夷	白馬亭	1969	ドイツ・オーストリアの旅　スケッチ
202	東山魁夷	優雅な窓　スケッチ	1969	連作「ドイツ・オーストリアの旅」
203	東山魁夷	朝の聖堂	1969	連作「古都を描く」習作
204	東山魁夷	晩鐘	1969	連作「古都を描く」習作
205	東山魁夷	古都遠望	1969	連作「古都を描く」習作
206	東山魁夷	緑のハイデルベルク	1969	連作「古都を描く」習作
207	東山魁夷	泉	1969	連作「古都を描く」習作
208	東山魁夷	春を呼ぶ丘	1972	連作“白馬の見える風景”　習作
209	東山魁夷	夕明り	1972	連作“白馬の見える風景”　習作
210	東山魁夷	渚の白馬	1972	連作“白馬の見える風景”　習作
211	東山魁夷	森装う	1972	連作“白馬の見える風景”　習作
212	東山魁夷	綿雲	1972	連作“白馬の見える風景”　習作
213	東山魁夷	道　スケッチ　A	1950	第6回日展のための準備作
214	東山魁夷	道　スケッチ　B	1950	第6回日展のための準備作
215	東山魁夷	道　スケッチ　C	1950	第6回日展のための準備作
216	東山魁夷	道　スケッチ　D	1950	第6回日展のための準備作
217	東山魁夷	道　スケッチ　E	1950	第6回日展のための準備作
218	東山魁夷	道　小下図	1950	第6回日展のための準備作
219	東山魁夷	道　大下図	1950	第6回日展のための準備作
220	東山魁夷	道	1995	タピストリー

平成29年度長野県信濃美術館協議会

日　時　　平成29年9月19日（火）　13:30
場　所　　長野県信濃美術館　3階講堂
内　容　　1　協議事項
　　(1) 平成28年度展覧会等事業実施状況について
　　(2) 平成29年度事業（予定）について
　　2　報告・その他
　　(1) 信濃美術館・東山魁夷館の整備について
　　(2) その他

モニター会議

名　称　　平成29年度モニター会議
日　時　　平成30年3月21日（水・祝）　14：00～
場　所　　長野県信濃美術館　3階講堂
内　容　　展覧会、善光寺門前研究プロジェクトについての報告・意見交換と信濃美術館整備室より新美術館についての説明

信濃美術館整備に向けての経過

※橋本光明館長は整備委員として、以下の委員会すべてに出席

信濃美術館整備事業設計プロポーザル審査委員会
　開催日　平成29年6月5日（月）
　内容　　設計者（最適候補者）の選定
　　（株）プランツアソシエイツ（東京都）代表取締役　宮崎　浩
　　代表作品：安曇野高橋節郎記念美術館（安曇野市）

第1回信濃美術館整備委員会　地域連携専門委員会
　開催日　平成29年6月21日（木）
　内容　　美術館と地域との連携、県民の気運醸成　等

第2回信濃美術館整備委員会　美術館運営専門委員会
　開催日　平成29年7月13日（木）
　内容　　新美術館の事業編成、各室の仕様　等

第2回信濃美術館整備委員会
　開催日　平成29年7月24日（月）
　内容　　設計者の設計コンセプトの説明・意見交換　等

第3回信濃美術館整備委員会　美術館運営専門委員会
　開催日　平成29年10月20日（金）
　内容　　基本設計素案の説明・意見交換　等

第3回信濃美術館整備委員会
　開催日　平成29年11月1日（水）
　内容　　基本設計素案の説明・意見交換　等

第4回信濃美術館整備委員会　美術館運営専門委員会
　開催日　平成30年1月30日（火）
　内容　　交流スペース・屋上広場の使い方　等

利用案内

施設名称　長野県信濃美術館 東山魁夷館
所 在 地　〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4（善光寺東隣 城山公園内）
お問合せ　TEL.026-232-0052　FAX.026-232-0050
開館時間　9:00-17:00（入館は16:30まで）
休 館 日　毎週水曜日（祝日休日は開館）
信濃美術館　全面改築の為、2017年10月1日（日）から休館
東山魁夷館　改修の為、2017年5月31日（水）から休館
※展示替え、メンテナンスなどにより臨時に休館する場合があります。

観 覧 料

	大人	大学生	高校生以下
企画展	展覧会ごとに異なります		無料
長野県信濃美術館 収蔵品展 東山魁夷館 常設展	500(400)円	300(200)円	

＊（ ）内は、20名以上の団体割引料金です。
＊身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳をお持ちの方は、当館主催の展覧会の観覧料が減免されます。

平成29年度　年間パンフレット

長野県信濃美術館

◉ 平成29年度

館報 No.20

編集・発行　長野県信濃美術館
〒380-0801　長野市箱清水1-4-4
TEL 026-232-0052
発　行　日　平成30（2018）年4月30日

© 2018 Nagano Prefectural Shinano Art Museum